

福岡市DX戦略 実行項目の実施状況 (令和5年度)

福岡市では、市のDXに係る基本的な方針や考え方をまとめ、重点的に取り組むべき内容を具体的に定めた「福岡市DX戦略」を令和5年6月に策定しました。

また、「福岡市DX戦略」に基づき具体的に取り組む施策を「実行項目」として、各項目に指標と工程を設定し、目標として掲げた指標をもとに進捗管理を行うこととしております。

各実行項目の実施状況については、毎年度公表するとともに、随時、見直しを行うこととしております。



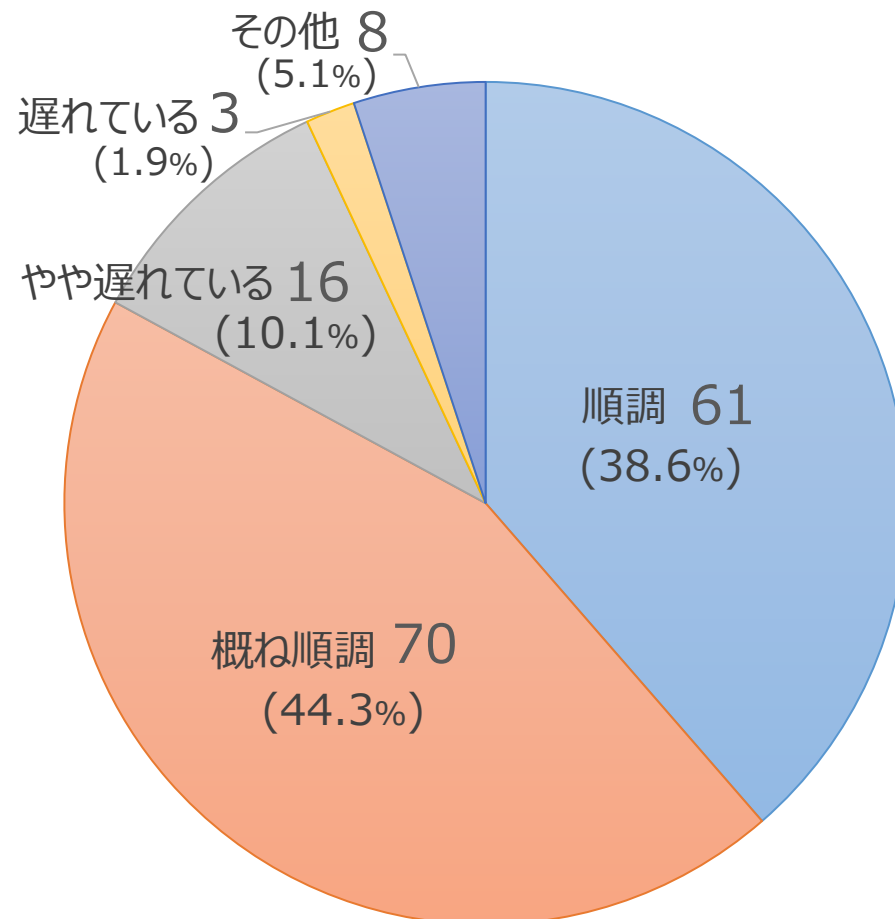
○福岡市DX戦略の実行項目の実施状況を各所管において

次の4段階で評価を行っております。

- ・順調
- ・概ね順調
- ・やや遅れている
- ・遅れている

○令和5年度の実施状況については、実行項目（158件）

の82.9%で、「順調」または「概ね順調」となっております。



I. 暮らしのDX

I-1. 行政手続きのオンライン化の推進	8
①福岡市公共施設案内・予約システムの刷新	8
②原付バイク等の手続きに係るオンライン申請	9
③引越しに係る行政手続きのオンラインサービス	9
④犬の登録手続きDX	10
⑤集団健診のオンライン予約推進	10
⑥LINEを活用した粗大ごみ収集受付	11
⑦市営住宅定期募集における電子申請システムの利用	11
⑧乗車券のネット販売の実施	12
⑨就学援助のオンライン申請の拡充	12
⑩保育施設等の手続きに係るオンライン申請の推進	13
I-2. 各種証明書のコンビニ交付の推進	
①コンビニエンスストアにおける税務証明書の発行	14
②コンビニエンスストアにおける証明書交付の促進	15
I-3. キャッシュレスの推進	
①公共施設におけるキャッシュレス決済の拡大	16
②介護保険料のスマートフォン決済の導入	16
③国民健康保険料等のキャッシュレス決済の導入	17
④下水道使用料のスマートフォン決済の導入	17
⑤ICTを活用した新たな地下鉄乗車の検討・推進	18
⑥定期券うりばにおけるキャッシュレス化の推進	18

I-4. インターネットを利用した口座振替等受付サービスの推進	
①市税	19
②介護保険料	19
③国民健康保険料、後期高齢者医療保険料	20
④保育料	20
I-5. データ連携基盤を活用した新たなサービスの構築 (ポータルサイトの運用)	21
I-6. 水道料金系システム再構築によるお客さまサービスの向上	22
I-7. チャットボットの活用推進	
①チャットボットを活用した問合せ対応	23
②LINEを活用したごみ分別案内	23
③水道版チャットボットの機能向上	24
I-8. 公民館等へのリモート窓口の導入	24
I-9. オンラインによる子育て支援	
①母子保健オンライン相談等事業の推進	25
②母子手帳アプリの活用による乳幼児健診手続きのデジタル化	25
③オンライン育児相談	26
④ハイブリッド型子育てビギナーズ教室	26
⑤みなみっこ子育て支援事業(オンデマンド講演会)	27
⑥みなみっこ子育て支援事業(ミニミニ講座動画配信)	27
⑦父親向け講座「西区パパニティ」	28
I-10. SNSを活用した教育相談事業	29

1. 暮らしのDX

1-1. デジタル技術を活用した健康管理

- ①PHRの活用事例の創出 30
- ②ICTを活用した特定保健指導 31
- ③成人（壮年期）向け生活習慣病啓発講座のハイブリッド実施 31

1-2. SNSを活用した配信によるゲートキーパー養成 32

1-3. デジタル技術を活用した多言語対応

- ①AI多言語音声翻訳アプリの活用 33
- ②多言語でのごみ出しルール案内サービスの提供 33
- ③多言語での博多ポートタワー・博多港ベイサイドミュージアムのパネル案内サービスの提供 34

1-4. ICTを活用した情報発信の充実 35

1-5. HP 東区認知症オレンジちゃんねる運用 36

1-6. 若年者に対する消費者教育・啓発事業 36

1-7. 有料指定席券のネット販売システム 37

1-8. 誰もがデジタル技術による便利な市民サービスを活用できる環境づくり

- ①公民館等へのリモート窓口の導入（再掲） 38
- ②公民館スマホ塾等の開催 38

2. まちのDX

2-1. 公民連携の推進

- ①スマートシティ推進事業（公民連携ワンストップ窓口「mirai@」） 39
- ②「福岡100」公民連携社会実装支援事業（福岡100ラボ） 39

2-2. データ連携基盤を活用した新たなサービスの構築（再掲） 40

2-3. オープンデータ等の推進

- ①オープンデータの充実 41
- ②都市計画道路の整備状況のオープンデータ化 41
- ③施設のバリアフリー情報の提供 42
- ④福岡市文化財情報データベース化事業 42
- ⑤博多港航空写真の公開 43

2-4. 地域コミュニティにおけるデジタル化の推進

- ①自治協議会等のデジタルによる情報発信の支援 44
- ②公民館におけるタブレット端末の活用 44

2-5. 地域の情報配信（安全・安心）

- ①ハザードマップの3D化 45
- ②防災アプリの利活用推進 45
- ③IoTを活用した子ども見守り事業 46
- ④防犯情報配信事業 46
- ⑤下水道管渠内の水位情報の提供 47
- ⑥東区防災情報のYouTube配信 47

2-6. 地域の情報配信（イベント・魅力等）

- ①祭り運営のデジタル化促進事業 48
- ②史跡案内サインとホームページの連携による「西区の宝」魅力発信 48

2-7. MaaSの検討 49

3. しごとのDX

3-1. 中小企業、生産者等への支援

①生産性向上のための人材育成事業	50
②中小企業デジタル化サポート事業	51
③DX推進エコシステム形成事業	51
④エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進	52
⑤農産物等のEC活用推進	53
⑥スマート農業の推進	54
⑦スマート水産業の推進	54

3-2. 経済活動における行政手続き等のオンライン化

①電子契約の推進	55
②工事書類提出の電子化	55
③ICTを活用した施工管理の業務効率化	56
④医薬務関係手続きのオンライン化	56
⑤事業系ごみ減量・リサイクルシステム (福岡市ごみと資源物のポータルサイト)の構築	57
⑥立地交付金の申請手続きにおけるDXの推進	57
⑦屋外広告物に係る行政手続きのオンライン化	58
⑧土地区画整理法第76条の許可申請の受付方法の拡充	58
⑨特定建築物等の定期報告のオンライン化	59
⑩資源物地域集団回収等報奨金申請のオンライン化	59
⑪公園愛護会活動報告のオンライン化	60
⑫火災予防手続きのオンライン化	60
⑬地下埋設物確認調査受付及び回答サービスの構築	61
⑭インターネットを利用した水道管理設状況確認サービスの構築	61
⑮給水装置工事(一時用)申請の導入	62
⑯給水審査・検査・相談等窓口のオンライン予約サービス	63
⑰埋蔵文化財手続きのオンライン化	64

3-3. ICTを活用した日常生活の安全・安心の確保

①ICTを活用した環境・食品衛生監視指導	65
②ICTを活用した環境・食品衛生に関する啓発事業	66

4. 行政のDX

4-1. DXを前提とした業務プロセス見直しの推進	67
4-2. RPA、AI-OCRを活用した業務の効率化と職員の事務負担の軽減	68
①RPAを活用した水道の入居・転居に係る事務負担の軽減	68
②陳情システムへのアップロード自動化	69
4-3. ICTを活用した公民館運営業務の効率化・自動化の推進	69
4-4. AIを活用した議事録作成支援サービスの提供	70
4-5. AIチャットボットを活用した庁内問合せ業務の効率化	70
4-6. 業務アプリ作成ツールの活用	
①AppSuiteを活用した業務の効率化と職員の事務負担の軽減	71
②AppSuiteを活用した職員向けの窓口案内検索システム	71
4-7. 入力・印刷作業等の自動化	
①介護保険、高齢者福祉、障がい者福祉業務	72
②税関係業務	72
③その他各種手続き・申請等	73
④公園愛護会関係業務	73
4-8. モバイルワーク環境の整備推進	74
4-9. ペーパーレスの推進	74
4-10. ICTを活用した日常生活の安全・安心の確保	
①オンラインを活用した監視指導・外部協議等の実施	75
②タブレット端末を利用したオンライン申請の推進	75
③AI活用による安全安心な訪問	76
④ICTを活用した「施設立入調査」の業務効率化	76
⑤プッシュ型動画配信による食中毒予防啓発の取組み	77

4-11. タブレット端末活用による生活保護ケースワーカーの業務効率化	78
4-12. タブレットを活用した地域保健活動の推進	78
4-13. 公共工事、維持管理等のデジタル化の推進	
①3次元データを活用した公共工事の推進	79
②建設現場における遠隔臨場の活用推進	79
③地中レーダー等を活用した地下埋設物検知	80
④ドローン等を活用した橋梁点検	80
⑤下水道施設統合監視システム『FORViS』の運用	81
⑥AIを活用した水処理センターにおける流入量予測	81
⑦ドローン活用による河川3Dマップの構築	82
⑧スマートフォン等を活用した市民参加型通報システム(公園・緑地等)	83
⑨スマートフォン等を活用した市民参加型通報システム(道路・河川)	83
⑩AIを活用した道路パトロール	84
⑪道路整備維持補修業務支援システム	84
⑫維持管理情報の電子化	85
⑬IoT・AIなどのICT技術を活用した水道施設の維持管理の高度化・効率化	85
⑭IoTセンサを活用したポンプ設備点検	86
⑮ICTを活用した水源かん養林の保全	86
4-14. デジタル技術を活用した災害対応等	
①GISクラウド・判定アプリを活用した被災建築物応急危険度判定	87
②ドローンを活用した災害対応等	87
③ドローンを活用した災害対応力や情報発信力の強化	88
④遠隔監視	88

4-15. IoTを活用した捕獲活動の効率化	89	5. DXを支える基盤	
4-16. データを活用した政策立案の推進		5-1. 自治体情報システムの標準化・共通化への対応	94
①地域包括ケア情報プラットフォーム	89	5-2. システム刷新による業務の効率化	95
②AIを活用した「ケアプラン作成支援システム」構築事業	90	5-3. 下水道事業財務会計システム再構築	95
③ビッグデータを活用した交通安全対策	91	5-4. 消防指令管制情報システム全面更新	96
④航空レーザ計測による森林の基礎データ活用	91	5-5. マイナンバーの利活用	
⑤博多旧市街ライトアップウォークの混雑緩和・回遊性の向上	92	①高齢者福祉に関する手続き	97
⑥教育データの活用	92	②障がい福祉に関する手続き	97
⑦データ活用人材育成のための職員研修	93	③生活保護に関する手続き	98
		5-6. マイナンバーカードの普及促進	99
		5-7. 情報セキュリティ監査の実施	99
		5-8. 研修による職員の情報セキュリティ意識の向上	100
		5-9. 市民目線での行政手続き等のルール見直しの推進	101

1.くらしのDX

I	行政手続きのオンライン化の推進				総務企画局			
<p>●令和3年4月に導入した新たな電子申請システムを活用し、誰もが使いやすく分かりやすいUIの導入や仕組みづくりを進めながら、行政手続きのオンライン化に取り組んできました。</p> <p>●その結果、令和4年度末時点のオンライン化の目標（90％）については、達成しました。</p> <p>●令和5年度以降は、引き続きオンライン化に取り組むとともに、使いやすさの向上や広報などにより、オンライン利用率の向上を図っていきます。</p>	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	手続きオンライン化		→		→		→	
	手続き改良等		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	福岡市の電子申請システムや国のぴったりサービスを活用して、オンラインで申請できる手続きの増加を図るとともに、使いやすい申請フォームとなるよう取り組みました。				引き続き、オンラインで申請できる手続きを拡充するとともに、市民にとって使いやすい申請フォームとするなど、利用促進に取り組みます。			
	指標							
	オンライン利用率（％） （オンライン利用件数／オンライン化済手続きの総処理件数）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
51.3					52.0	58	65	
①	福岡市公共施設案内・予約システムの刷新				総務企画局			
<p>●令和4年度より、システムの刷新を行っており、令和5年3月から運用開始しました。</p> <p>●スマートフォンへの最適化、キャッシュレス決済の導入などUI／UXの見直しを行います。</p> <p>●対象施設を拡大し、より市民が利用しやすい公共施設予約システムへ刷新します。</p>	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	システム刷新		システム運用		→		→	
	対象施設を拡大		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	スマートフォンにも最適化された画面デザインや音声ガイド、色違いなど高齢者や障がい者にも使いやすいユニバーサルデザインに対応したシステムへと刷新しました。 予約可能な対象施設を8施設追加しました。				オンラインによる利用者登録申請の受付等、引き続き、利用者の利便性向上に取り組みます。			
	指標							
	利用者満足度（％）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
－					68	70	75	

1. 暮らしのDX

I	行政手続きのオンライン化の推進							
②	原付バイク等の手続きに係るオンライン申請						財政局	
●これまで窓口のみで行っていた原付バイク等に係る申請手続きを、令和4年11月からオンライン申請でもできるようにしており、市民の利便性向上と窓口の混雑緩和を図ります。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	周知・広報		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	以下の方法により、周知・広報を行いました。 ・市政だより ・福岡市ホームページ ・市税に関する情報誌「みんなの市税」 ・納税通知書同封チラシ ・軽自動車税窓口でチラシ配布及びポスター掲示 ・市内大学、短期大学に学生への周知を依頼				令和5年度同様、周知・広報を行います。			
	指標							
	オンライン利用率(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
-					23.1	80	80	
③	引越しに係る行政手続きのオンラインサービス						市民局	
●来庁時に申請書類への署名などだけで手続きが完了するオンライン予約サービスの利用促進を図るとともに、手続きのオンライン化における国等の動向を踏まえ、サービスの改善に取り組みます。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	事業の周知・PRによる 利用促進		→		→		→	
	法改正やシステムの 標準化に対応する見直し		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	引越しシーズンには、本事業やコンビニ交付等、区役所に来庁が集中しないためのサービスをまとめ、市政だよりやCM放映を利用して重点的に広報を実施しました。 なお、令和5年2月より国の引越しワンストップサービスが開始されました。転出時の来庁が不要になることから、転出にあたっては引越しワンストップサービスの利用を広報しています。				ホームページやポスター、動画等において周知を行うとともに、利用者によって、どのオンライン手続きサービスを利用するのがより適切なのかホームページ上のフローチャートでガイドするなど、適切な広報に努めます。			
	指標							
サービスの利用申込数(件)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)	
				8,569	7,932	20,000	25,000	

I	行政手続きのオンライン化の推進										
④	犬の登録手続きDX						保健医療局				
●狂犬病予防法の特例制度への参加により、マイクロチップを装着し環境省のデータベースに登録された犬について、指定登録機関からの通知をもとに無料で犬の登録を行うことで、手続きのオンライン化を推進します。 ●飼い犬登録システムを改修し、指定登録機関からの通知に基づく、マイクロチップ情報のデータを取り込めるようにします。		工程									
		5年度		6年度		7年度		8年度			
		システム改修及び運用		→		→		→			
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み					
		飼い犬登録システムを改修し、マイクロチップを装着した犬の登録手続きをオンライン化しました。 ・犬の登録頭数 4,964頭（オンライン） 1,322頭（窓口）				引き続き、指定登録機関からの通知をもとに、犬の登録を行います。					
		指標									
		オンラインによる犬の登録件数（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
				0		4,964		7,000		7,000	
⑤	集団健診のオンライン予約推進						保健医療局				
●各区保健福祉センター等で行うよかドック及びがん検診の集団健診について、健診専用Webサイト「けんしんナビ」によるオンライン予約を実施します。		工程									
		5年度		6年度		7年度		8年度			
		Webサイトの周知		→		→		→			
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み					
		チラシやパンフレット、受診勧奨DM等に「けんしんナビ」のQRコードを掲載し、サイトの周知を図りました。 令和5年度集団健診において、10,187名が「けんしんナビ」から予約しており、オンライン予約の割合が5割を超えました。				今後もオンライン予約の利用促進のため、QRコードを掲載した受診勧奨のDMや市政だより等を活用した広報啓発に努めます。					
		指標									
		オンライン予約の割合（％）		現状値 （3年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
				37		50.5		45		50	

1.くらしのDX

I	行政手続きのオンライン化の推進				
⑥	LINEを活用した粗大ごみ収集受付				環境局
●LINEを活用した「粗大ごみ収集受付」を実施し、粗大ごみの収集申込みから処理手数料の支払いまで、スマートフォンで一体的に行えるようにします。 ※令和4年度には、収集日が近づいたことをお知らせするリマインド機能を追加するとともに、従来のLINE Payに加え、クレジットカードやPay Payでも支払いができるように改修を行いました。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	広報活動	→	→	→	
	機能面の振り返り	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	LINEで粗大ごみ収集受付ができることについて、市HPや市政だより、各区役所の懸垂幕、チラシの設置を行い、市民への周知を行いました。あわせて、LINE受付の際のユーザビリティを高めるため、選択する収集品目の品目名見直し等を行いました。		引き続き、引越シーズンを迎えた効果的な広報を行うとともに、LINEで申込みする際のユーザビリティを高めるため、品目名や表示されるメッセージ等の改善を行います。		
	指標				
オンライン決済の利用率(%)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		10.3	23.5	26.0	30.0
⑦	市営住宅定期募集における電子申請システムの利用				住宅都市局
●年間約1万件の申し込みがある市営住宅定期募集において、電子申請システムの活用により、入居を希望する市民の手続きの簡素化を図ります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	適宜、フォームの見直し、改善を実施	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	市政だより等で電子申請システムによる申込みを実施していることを周知しました。 申請者からの要望を受け、フォームの変更を行い、利便性向上を図りました。		利便性及び視認性向上のため、引き続きフォーム等の見直しを行います。 制度の改正等によるフォームの変更・追加が必要になる場合は、見やすさだけでなく、申請者がわかりやすい表記となるよう検討します。		
	指標				
	オンライン利用率(%)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
33			38	35	37

1. 暮らしのDX

I	行政手続きのオンライン化の推進							
⑧	乗車券のネット販売の実施						交通局	
●駅や定期券うりばでのみ発売していた、定期券を除く一部の乗車券をネットで発売します。 ●令和3年4月より開始したインターネット販売については、一定の利用はあるものの現金購入に比べ利用率は低いため、お客さまへの更なる周知を図ります。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	インターネット販売の継続		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	ファミちかきっぷ、ファミリーペア券がネット購入可能です。				引き続き、お客さまへの更なる周知を図ります。			
	指標							
	ネット販売による購入率(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
10					11	15	20	
⑨	就学援助のオンライン申請の拡充						教育委員会	
●令和4年3月から、就学援助の一部オンライン申請を開始していましたが、受付期間や申請要件を拡充します。 ①受付期間 3月から5月までの3ヶ月間 →随時 ②申請要件 継続世帯で所得基準内または児童扶養手当受給中のみ →新規・継続世帯で、特別な事情を除く全要件	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	①受付期間の延長 ②申請要件の拡大		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	①受付期間を3月から5月までの3か月間から、3月から翌年3月までの受付期間全期間に拡大しました。 ②申請要件を継続世帯で所得基準内または児童扶養手当受給中のみから新規・継続世帯問わず特別な事情を除く全要件に拡大しました。				令和5年度に拡充した受付を継続し、オンライン申請の周知に努めます。			
	指標							
	オンライン利用率(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
52.1					62.3	55	60	

1. 暮らしのDX

I	行政手続きのオンライン化の推進				
⑩	保育施設等の手続きに係るオンライン申請の推進				こども未来局
●保育所や認可外保育施設などの手続きについて、新電子申請システムやぴったりサービスを活用した手続きのオンライン化を推進します。 ●令和5年3月より、市外からの転入予定者について保育所の新規申請をぴったりサービスで受付を開始しました。 ●令和5年10月に市内居住者に対象を拡大しました。保育施設等に係るその他の手続きについても順次対象を拡大します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	手続きオンライン化	→	→	→	
	手続き改良等	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	認可保育所について対象手続きの拡充を実施します。		認可外保育施設の無償化手続き等の拡充を実施予定です。		
	指標				
	対象手続きのオンライン化(%)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		14	57	100	100
	保育所入所申込のオンライン申請率(%)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		-	13	20	30

2	各種証明書のコンビニ交付の推進				
①	コンビニエンスストアにおける税務証明書の発行			財政局	
●これまで窓口、郵送、オンラインで行っていた税務証明の発行を、令和6年1月からコンビニエンスストアでもできるようにします。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	導入準備 (システム改修等)				
	・発行開始(R6.1月) ・周知、広報の実施	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	令和6年1月9日よりコンビニ交付開始しました。市のHP、公式SNS、市政だよりにより、市民へ広く周知するとともに、税証明発行窓口にてポスターの掲示やチラシの設置を行いました。また、開始から3か月(令和6年1月～3月)は、手数料の減額キャンペーンにより、手数料を10円としました。		令和6年6月に、発行対象年度の2か年度化対応を行いました。また、コンビニ店舗及び地下鉄駅構内へのポスター掲示、ホークスビジョンでの情報発信、納税通知書等封筒でのPRなどを実施しました。		
	指標				
	コンビニ交付対象の有料証明発行数に占めるコンビニ交付発行証明の割合(%)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		-	29.6	20	30

2	各種証明書のコンビニ交付の推進				
②	コンビニエンスストアにおける証明書交付の促進				市民局
●コンビニエンスストアにおける証明書交付サービスの一層の周知を図るとともに、利用の定着に取り組みます。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	チラシ配布等による コンビニ交付の周知・促進	→	→	→	
	マルチコピー機の全区設置 (4区追加設置)	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	コンビニ交付に係る手数料を一律10円へ減額（～令和6年3月末）するとともに、全区役所にマルチコピー機を設置し、職員による操作案内を行いました。映画館でのCM放映やWeb広告、チラシ配布やポスター掲示、デジタルサイネージ等を活用した広報を行いました。		引き続き、ポスター掲示やデジタルサイネージ等でのPR動画の放映等により、広報を行っていきます。		
	指標				
	コンビニ交付対象の全ての有料証明発行数に占めるコンビニ交付発行証明の割合（%）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		27.0	49.7	55	60

3	キャッシュレスの推進										
①	公共施設におけるキャッシュレス決済の拡大								総務企画局		
<p>●令和3年9月に、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済を可能とするキャッシュレス拡大を実施しました。</p> <p>●令和5年1月末時点では、34窓口・57施設において、キャッシュレス決済が可能となっています。</p> <p>●市民の利便性向上のため、引き続きキャッシュレス決済の拡大に取り組めます。</p>	工程										
	5年度		6年度		7年度		8年度				
	キャッシュレス決済の拡大		→		→		→				
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み						
	キャッシュレス決済ができる窓口・施設の拡充に取り組ましました。				引き続き、窓口・施設のキャッシュレス決済の対応していきます。						
	指標										
	利用可能窓口・施設数（箇所）				現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）
91					92		100		108		
②	介護保険料のスマートフォン決済の導入								福祉局		
<p>●介護保険料の納付方法に、スマートフォン決済を導入します。</p> <p>●市政だよりやホームページ、介護保険広報紙等を活用して周知を図っていくほか、介護保険料に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図ります。</p>	工程										
	5年度		6年度		7年度		8年度				
	7月導入予定		→		→		→				
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み						
	令和5年6月より導入済です。 市政だよりや介護保険料に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図りました。				引き続き、市政だよりや介護保険料に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図ります。						
	指標										
	スマートフォン決済での収納件数（件）				現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）
-					4,970		6,000		8,000		

1. 暮らしのDX

3	キャッシュレスの推進								
③	国民健康保険料等のキャッシュレス決済の導入							保健医療局	
●国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料の納付方法に、スマートフォン決済及びクレジットカードによるキャッシュレス決済を導入します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		6月(国保) 7月(後期)		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		令和5年度より国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料の納付方法について、キャッシュレス決済を導入し、開始当初から徐々に利用件数が増えています。				キャッシュレス決済について、さらなる周知を図り、利用件数を増やしていくことを目指します。			
		指標							
		国民健康保険料における納付書払いに占めるキャッシュレス決済件数の割合(%) ※各年4月～翌5月までで計上		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
		0	6.6	8	10				
④	下水道使用料のスマートフォン決済の導入							道路下水道局	
●下水道使用料に、スマートフォン決済を導入します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		構築運用開始 (R6.1月～)		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		システム改修を行いました。 スマートフォン決済開始の周知(チラシの配布、HPによる広報)を行いました。				納付書による納付者に対して、チラシの配布を実施予定です。			
		指標							
		利用件数(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
		-	82	140	190				


1.くらしのDX

3	キャッシュレスの推進									
⑤	ICTを活用した新たな地下鉄乗車の検討・推進								交通局	
●地下鉄乗車時のクレジットカードタッチ決済など、現金を使わずスムーズな利用を検討・推進します。	工程									
	5年度		6年度		7年度		8年度			
	クレジット決済の実証実験の継続等		令和6年4月1日よりクレジットカード等によるタッチ決済乗車を本格導入		→		→			
	キャッシュレス決済の検討、検証等		キャッシュレス決済のサービス拡充施策の検討		→		→			
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み					
	令和5年7月7日より「1日最大料金サービス」を開始しました。				タッチ決済サービスの拡充を実施します(1か月最大料金サービス、決済ブランドの追加、読取り機増設)。					
	指標									
	輸送人員に占めるタッチ決済乗車の割合(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
0.1					1.4	2.0	4.0			
⑥	定期券うりばにおけるキャッシュレス化の推進								交通局	
●地下鉄定期券うりばにおける決済手段として、現金のみではなく、クレジットカードの他、QRコード決済の導入を進めます。	工程									
	5年度		6年度		7年度		8年度			
	新たな決済端末の導入検討		→		→		→			
	新たな決済手段の導入検討		→		→		→			
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み					
	クレジットカード、PayPayでの決済が可能です。				・引き続き、キャッシュレス決済の利用促進を図ります。					
	指標									
	定期券うりばにおけるキャッシュレス決済金額比率(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
76					79	78	80			

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

4	インターネットを利用した口座振替等受付サービスの推進								
①	市税						財政局		
●市税の口座振替の申込みにインターネット口座振替受付サービスを導入し、申請者の押印や郵送の手間を省略します。 ●市政だよりやホームページ、市税広報誌等を活用して周知を図っていくほか、市税に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図ります。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		周知、広報の実施		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		納税通知書や市民向けパンフレットへのQRコードの記載、福岡市ホームページを利用した広報を行ったほか、新たに、新築マンション購入者へWEB申請のみを案内した口座振替加入勧奨を行いました。 また、令和5年11月から、楽天銀行・PayPay銀行の口座も利用可能としました。				引き続き、納税通知書や市民向けパンフレットへのQRコードの記載、福岡市ホームページを利用した広報及び、新築マンション購入者へWEB申請のみを案内した口座振替加入勧奨を行います。			
		指標							
		口座振替申込におけるWeb利用累計件数(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
12,410 (R4.11月末)	19,452			27,400	57,800				
②	介護保険料						福祉局		
●介護保険料の口座振替の申込みにインターネット口座振替受付サービスを導入し、申請者の押印や郵送の手間を省略します。 ●市政だよりやホームページ、介護保険広報紙等を活用して周知を図っていくほか、介護保険料に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図ります。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		利用促進の取組み		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		市政だよりや介護保険料に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図りました。				引き続き、市政だよりや介護保険料に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図ります。			
		指標							
		インターネットからの申請件数(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
1,670	2,193			2,350	2,500				

4	インターネットを利用した口座振替等受付サービスの推進								
③	国民健康保険料、後期高齢者医療保険料					保健医療局			
●国民健康保険料や後期高齢者医療保険料の口座振替の申込みにインターネット口座振替受付サービスを導入（令和元年6月～）し、申請者の押印や郵送の手間を省略します。 ●市政だよりやホームページ等を活用して周知を図っていくほか、保険料に係る各種通知等に案内を掲載するなど、利用促進を図ります。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		周知・広報の実施		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		市政だよりやホームページ等による周知を行いました。保険料に関する各種通知や口座振替依頼書等に案内及び受付サイト二次元コードを掲載しました。			令和5年度と同様の取組みを継続して、積極的な周知を行い、利用促進を図ります。				
		指標							
		インターネット口座振替受付サービス申込件数（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）		
3,049	4,181			4,200	5,000				
④	保育料					こども未来局			
●申請者が金融機関に出向く手間をかけずに手続きが完了するインターネット口座振替受付サービスについて、年2回の利用者負担額決定通知時に送付する、口座未登録者に対する案内文書に、受付サイトのQRコードを掲載するなど利用促進を図ります。 ※令和5年度から第2子以降の保育料無償化を実施するため、全体の利用件数は現状値（4年度）から減少する。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		サービスの周知		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		口座未登録者へ案内文書を配布したほか、問い合わせ等があった場合は、積極的にインターネット口座振替受付サービスを個別に案内を行いました。			引き続き、案内文書やホームページのわかりやすい周知をすることで利用促進を図ります。 令和4年度から利用できる金融機関としてゆうちょ銀行が追加されたため、広く周知を行います。				
		指標							
		口座振替申込におけるWeb利用累計件数（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）		
3,555	2,397			2,500	2,500				

5	データ連携基盤を活用した新たなサービスの構築（ポータルサイトの運用）	総務企画局			
<div>●福岡市データ連携基盤を活用し、分野横断的な官民データの連携を行うとともに、ポータルサイトを通じて様々な分野のサービスを提供し、市民の利便性向上や安心して暮らせる社会の実現するための取り組みを推進します。</div> <div></div> <div>福岡市公式ポータルサイト 「ふくおかサポート」登録はこちらから</div>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	プッシュ型通知の拡充	→	→	→	
	サービス実装	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	データ連携基盤を活用し、ポータルサイト「ふくおかサポート」からプッシュ型の情報提供を行うなど、データの利活用を推進しました。 プッシュ型の情報提供の10件拡大など全体で16件のサービス拡充を行いました。（うち、マイナンバーカード利活用サービス提供数：11件増）		引き続き、プッシュ型の情報提供サービスの拡大を図るとともに、官民データ連携によるサービスの創出を図ります。		
	指標				
	データ連携基盤を利活用したサービス提供数（官民合計・累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
11			27	40	100

1. 暮らしのDX

6	水道料金系システム再構築によるお客さまサービスの向上	水道局			
●Web上で過去の水道料金の確認や口座振替の申込等が行える既存のサービスに加え、スマートフォン決済を導入するなど、お客さまが24時間どこからでも、入居から料金支払いまでの手続きができるノンストップサービスの実現を図ります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	導入準備 サービス導入	→	→	→	
	サービスの推進	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	ご使用水量等のお知らせや納付書、パンフレットに案内（QRコードを含む）を掲載するとともに、案内カードの配布、市政だよりやみずだより、水道局公式X（旧：Twitter）等で広報を行いました。 お客さまセンターでの電話受付時にも個別に案内をしています。 お客さまサービスの利便性向上を図るため、令和6年1月から、水道局アプリを開発し、スマートフォン決済を導入しました。		インターネットサービスや水道局アプリの活用を促進するため、引き続き、ご使用水量等のお知らせやみずだより等での広報を行うとともに、お客さまセンターでの電話受付時にも個別案内を行います。		
	指標				
	新サービス（アプリ）登録件数（累計）（件）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		-	22,180	59,000	117,500

1. 暮らしのDX

7	チャットボットの活用推進								
①	チャットボットを活用した問合せ対応						市長室		
●市民から問い合わせの多い業務内容（証明書・マイナンバーカード、子育て、ごみ・リサイクル、国保・年金・健診等）をチャットボットで対応します。 ※令和5年度は、既存の子育てカテゴリの充実を図りました。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		既存カテゴリのシナリオ拡充		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		チャットボットの既存カテゴリのうち、子育てカテゴリについて、新たな制度に関する内容などを盛り込むことにより、充実を図りました。				チャットボットの既存カテゴリのうち、証明書・マイナンバーカード及び引越越しカテゴリについて、充実を図ります。			
		指標							
		チャットボットの問い合わせ件数（月平均）（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
16,851				17,129		30,000		40,000	
②	LINEを活用したごみ分別案内						環境局		
●福岡市LINE公式アカウントにおいて、チャットボットによるごみ分別案内を実施します。 ※平成30年度から提供を開始し、令和2年度にシナリオ選択項目、応答内容の拡充を実施しています。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		品目・処分方法の追加・削除・更新		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		応答できなかったキーワードを集計し、追加すべき項目の精査を行いました。				令和6年度中に約80件のキーワードの追加・修正を実施予定です。			
		指標							
		応答キーワード数（累計）（件） ※類語を含まない		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
614				614		700		750	

1.くらしのDX

7	チャットボットの活用推進						
③	水道版チャットボットの機能向上				水道局		
●生成AI搭載のチャットボットを活用し、お客さまからの簡易な問合せに対応することで、問い合わせニーズを的確に把握し、サービス向上に繋げていきます。	工程						
	5年度		6年度		7年度	8年度	
	利用状況の分析及び 掲載内容の更新		生成AI搭載のチャットボット を活用し機能強化を図る		→	→	
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み			
	チャットボットについては、令和6年1月に料金をシステムが更新されるため、特に内容等については更新していません。			料金システムや水道局アプリ等の導入を踏まえ、お客さまセンター事務と連携し、令和6年7月にチャットボットをリニューアルしました。随時データ更新を行いチャットボットの強化を図ります。			
	指標						
	【4年度・5年度】 入力された質問に対する回答の割合(%) 【6年度・8年度】 チャットボットのアクセス数(件／月)			現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
				95.0	93.6	400	800

8	公民館等へのリモート窓口の導入	総務企画局			
●公民館等の市民に身近な施設にビデオ通話が可能な機器を設置し、市民が区役所等に出かけることなく、遠隔での手続きや相談などを可能にします。 ●令和3～4年度の実証実験の結果を踏まえ、令和5年度には、離島などの区役所から遠い地域の公民館や出張所等（20か所程度）にリモート窓口を導入しサービスを開始します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	リモート窓口の導入	→	→	→	
	-	実施場所やサービス内容の改善	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	令和5年11月末から12月中旬にかけて、公民館11か所、出張所2か所の計13箇所、順次サービスを開始しました。		多くの市民に利用していただけるよう、公民館での体験会の開催、区役所窓口でのチラシ配布などにより、リモート窓口の周知を行います。		
	指標				
	利用者数（人）	現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）	最終目標（8年度）
		-	64	200	240

9	オンラインによる子育て支援								
①	母子保健オンライン相談等事業の推進					こども未来局			
●これまで対面により行っていた、保健師等の家庭訪問や親子教室などのセミナーの一部を、ビデオ通話を活用してオンラインで実施します。	工程								
	5年度		6年度		7年度		8年度		
	オンライン相談実施		→		→		→		
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み				
	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更や面接を給付要件とする出産・子育て応援給付金の創設などがあり、面接率が上昇していると考えられます。				引き続き保健師等の家庭訪問にオンラインという手段を提供することで、面接率の向上を図る。				
	指標								
	乳児家庭全戸訪問事業における面接率（オンラインを含む）（％）		現状値（4年度）		実績値（5年度）		中間目標（6年度）		最終目標（8年度）
69.6			94.8		95.0		96.0		
②	母子手帳アプリの活用による乳幼児健診手続きのデジタル化					こども未来局			
●母子健康手帳アプリまたはそれに類するサービスを活用し、乳幼児健診を電子化することで、市・医療機関・医師会の業務を効率化し、市民にとっても問診票の回答や健診結果の確認が簡単にできるなど、利便性の向上につながるようなシステムの導入を目指します。	工程								
	5年度		6年度		7年度		8年度		
	【乳幼児健診】サービス提供		→		→		→		
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み				
	4か月児健診を8月、10か月児、1歳6か月児、3歳児健診を2月に開始。個別健診においては、逐次、デジタル化対応医療機関を募集し、増やしました。				引き続き、デジタル化対応医療機関の募集を行うとともに、健診対象者への母子健康手帳アプリの広報にも努めます。				
	指標								
	アプリ利用率（％）		現状値（4年度）		実績値（5年度）		中間目標（6年度）		最終目標（8年度）
-			18		50		60		

1. 暮らしのDX

9	オンラインによる子育て支援				
③	オンライン育児相談				区役所 (東区)
●従来の家庭訪問や電話、窓口での育児相談に加え、オンライン育児相談を実施し、子育て家庭の育児不安の軽減を図ります。オンラインならではの、画面共有機能での資料提示や、赤ちゃん人形や顎模型等を活用して、分かりやすく説明を行います。		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		4月～毎月実施 (毎月1回2組)	→	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		毎月1回、2組の相談枠を設け、電子申請システムによって予約を受け付けました。 相談者数:10組20人(児はすべて乳児) 主な相談内容:離乳食、児の発育発達について 参考となるHPの画面共有や、乳児人形を用いての説明などを実施		継続して実施します。	
		指標			
		上段:オンライン育児相談の実施回数(回) 下段:参加組数(組)		現状値 (4年度) 5 (10)	実績値 (5年度) 10 (20)
④	ハイブリッド型子育てビギナーズ教室				区役所 (東区)
●低月齢児の子育て教室を、対面とオンラインのどちらでも参加可能とし、感染症拡大時も安心して参加できるようにするとともに、里帰り先からの参加や夫婦そろっての参加など、様々な選択が可能とします。ハイブリッド型子育てビギナーズ教室は、ぬくもりと利便性を兼ね備えた取組みであり、育児不安の軽減と市民サービスの向上を図ります。		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		年6回開催	→	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		定員25組(対面20,オンライン5)で実施。教室後の満足度、育児不安改善度は9割を超えました。		令和5年度と同様に実施します。令和6年7月には城南区とオンライン対象について合同開催を実施し、効率化を図りました。今後も合同開催希望区があれば実施を検討します。	
		指標			
		上段:オンラインでの実施回数(回) 下段:参加組数(組)		現状値 (4年度) 6 (18)	実績値 (5年度) 6 (16)

1. 暮らしのDX

9	オンラインによる子育て支援				
⑤	みなみっこ子育て支援事業(オンデマンド講演会)			区役所 (南区)	
<p>発達障がいについての正しい理解へつなげる市民向け講座をオンラインによりオンデマンドで開催します。</p> <p>※みなみっこ子育て支援事業は、発達が気になるまたは発達障がいのある就学前の子どもと保護者のサロンを開設し、保護者同士の情報交換や交流、親子で安心して過ごすことができる場の提供や、市民啓発を行う事業です。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	年1回開催	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	「子どものことばを育む関わり」というテーマの市民向け講座をオンデマンドで開催しました。		令和6年度以降も、乳幼児期の子どもを子育て中の親子が孤立化せずに育児不安が軽減するような事業展開を図ります。		
	指標				
上段:実施回数(回) 下段:申込者数(人)		現状値 (4年度) 1 (267)	実績値 (5年度) 1 (159)	中間目標 (6年度) 1 (300)	最終目標 (8年度) 1 (300)
⑥	みなみっこ子育て支援事業(ミニミニ講座動画配信)			区役所 (南区)	
<p>●臨床心理士による、子どもの発達を促す関わり方や保護者のリラックス法等のミニミニ講話を動画配信し、育児不安の軽減を図ります。</p> <p>※みなみっこ子育て支援事業は、発達が気になるまたは発達障がいのある就学前の子どもと保護者のサロンを開設し、保護者同士の情報交換や交流、親子で安心して過ごすことができる場の提供や、市民啓発を行う事業です。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	年6回				
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	臨床心理士による子供の発達に関する講話や母のストレス対処法などのミニ講座を全6回動画配信しました。		廃止		
	指標				
上段:動画配信回数(回) 下段:毎月平均視聴回数(回)		現状値 (4年度) 12 (37)	実績値 (5年度) 6 (94)	中間目標 (6年度) -	最終目標 (8年度) -

1. 暮らしのDX

9	オンラインによる子育て支援				
⑦	父親向け講座「西区パパニティ」			区役所 (西区)	
●夫婦コミュニケーションをテーマに、父親向け講座を開催します。妊娠中から夫婦コミュニケーションなどの夫婦関係に対して支援することで、夫婦がともに子育てを行う意識が醸成され、子育て中の各々の育児負担感軽減を図ります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	オンラインで講座の実施	アーカイブ配信	→	→	
	父親の参加を促すため、土曜日及び平日夜間に開催	対面講座を土曜日及び平日に開催	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	1回目を平日夜間(19時スタート)にオンライン配信、2回目を土曜日に対面で実施しました。参加動機は「父親としての関わりを知りたかったから」が最も多く、対面講座での父親同士の交流会は「他の父親の気持ちが聞けて良かった」「同じ悩みが話せてよかった」等の意見がありました。		父親同士の交流会、育児体験等の内容で実施します。		
	指標				
	父親が育児を主体的に行っていると回答する割合(%)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
100		集計中	100	100	

10	SNSを活用した教育相談事業	教育委員会				
●周りに相談できない児童生徒が、気軽に相談できるようSNS（LINE）を活用した相談窓口を設置し、いじめや不登校等の課題の早期発見や未然防止を図ります。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	SNS（LINE）を活用した教育相談の実施	→	→	→		
	運用・改善	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	○SNS相談のカードを対象者に配付しました。 1人1台端末にもSNS相談の2次元コードを掲載しました。 ○平日及び日曜日の19時から22時まで相談を実施しました。 相談受付件数1,937件 対応完了件数1,922件		○SNS相談のカードを対象者に配付します。 1人1台端末にもSNS相談の2次元コードを掲載します。 ○平日及び日曜日の19時から22時まで相談を実施します。 ○長期休業の前後等にプッシュメッセージの配信や、チラシ配付をして相談を促します。			
	指標					
	「福岡市子どもSNS相談」友だち登録数に対する相談人数の割合（相談率）（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			62.2	61.6	65	70

11	デジタル技術を活用した健康管理					
①	PHRの活用事例の創出				福祉局	
●市民が自身の健康・医療データを保有し健康管理に活かすことのできる社会の実現を目指し、PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）の活用事例の創出に取り組みます。	工程					
	5年度		6年度		7年度	8年度
	産学官民連携による 実証事業の実施		→		→	→
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み		
	PHRの活用事例の創出に向けた産学官民連携による実証事業の実施について検討しました。			PHRの活用事例の創出に向けた産学官民連携による実証事業の実施について検討します。		
	指標					
	産学官民連携によるPHR活用事例の創出件数（累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			0	2	2	4

11	デジタル技術を活用した健康管理								
②	ICTを活用した特定保健指導						保健医療局		
●医療機関の負担軽減及び対象者の利便性の向上のため、情報通信技術を活用したオンラインによる特定保健指導を実施します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		モデル事業実施		→		本格実施		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		申込者数:91人 終了者数:78人				実施対象者を増やします。 モデル事業の効果分析を行い本格実施に繋がります。			
		指標							
		特定保健指導実施率(%)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)	
26.9%				30.3%		30.5%		34.0%	
③	成人(壮年期)向け生活習慣病啓発講座のハイブリッド実施						区役所 (東区)		
●平日の日中に講座等に参加しにくい壮年期を対象に、令和4年度は、夜間講座として開催しました。令和4年度の参加申し込み状況や参加者へのアンケート結果をもとに、令和5年度以降にハイブリッド型で開催します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		年1回開催		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		テーマ:「時間栄養学でメタボ大作戦!」 日 時:R6年2月17日(土) KDBデータを読み取り、テーマを設定。ターゲット層である壮年期の参加を促すため、土曜日の午前中に対面とオンラインのハイブリット型での講座を企画し開催しました。				令和6年度は2月にオンラインのみでの講座開催で準備を進めています。オンラインのみであれば、居住区に関係なく参加者を募ることができるため、今後は他区との共同開催で業務の効率化も検討します。			
		指標							
		講座参加者数(人)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)	
定員30名				対面13 オンライン17		対面30 オンライン30		対面30 オンライン30	

12	SNSを活用した配信によるゲートキーパー養成	保健医療局			
●自殺対策には、異変に気づき適切な対応ができる「ゲートキーパー」を幅広く養成することが欠かせません。 従来の対面研修に加え、動画配信などの方法を活用して、行政の窓口相談員等の支援者等の自殺対策に係る人材の養成に取り組めます。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	動画配信による支援者向け研修の実施	動画配信による支援者向け研修の実施	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	教職員、市職員向けゲートキーパー養成研修、企業向けメンタルヘルス対策セミナー等をオンラインで実施しました。		左記研修を継続して実施します。		
	指標				
	配信によるゲートキーパー養成数（配信動画視聴回数）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
697			1,122	1,000	1,500

1. 暮らしのDX

13	デジタル技術を活用した多言語対応								
①	AI多言語音声翻訳アプリの活用						総務企画局		
●令和2年度からAI多言語音声翻訳アプリを区役所等へ10台導入し、令和4年度には18台に拡充しています。 ●引き続き、アプリの活用により、窓口等での多言語対応の充実を推進します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		AI多言語音声翻訳アプリの活用		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		各区役所及び本庁の市民相談室にAI多言語音声翻訳アプリを導入し、令和5年度は19台に拡充しました。				引き続き、各区役所等において活用し、多言語対応の充実を図ります。			
		指標							
		AI多言語音声翻訳アプリを活用した件数（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
2,400 （見込み件数）				3,011		2,760		3,120	
②	多言語でのごみ出しルール案内サービスの提供						環境局		
●QRコードを読み取ることにより、携帯端末に設定した言語で表示する技術を活用し、家庭ごみの出し方を案内するサービスを提供します。10種類の言語に対応し、外国人居住者に分かりやすくルールを周知します。 ※令和元年度からサービス提供を開始し、ページ維持管理、言語数の検討を行っています。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		ページ維持管理及び内容の修正等、言語数検討		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		外国人に対し生活情報等の案内を行う区生活ガイダンス員に本サービスを周知する広報物を配布し、更なる利用推進を図りました。				令和6年度にWebアクセシビリティの標準規格に準拠したレイアウトに変更するほか、引き続き、掲載内容を検討します。			
		指標							
		ページ閲覧数（累計）（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
11,914				13,337		13,500		15,000	

13	デジタル技術を活用した多言語対応					
③	多言語での博多ポートタワー・博多港ベイサイドミュージアムのパネル案内サービスの提供				港湾空港局	
●QRコードを読み取ることにより、携帯端末に設定した言語で表示する技術を活用し、博多ポートタワー・博多港ベイサイドミュージアムのパネル展示を多言語で紹介するサービスを提供します。	工程					
	5年度		6年度		7年度	8年度
	内容検討		サービス提供		維持管理	→
	予算要求				拡大検討	→
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み		
	博多ポートタワー、博多港ベイサイドミュージアムへ導入する内容及び方向性の検討、令和6年度予算要求を実施します。			令和6年度下半期にサービス提供予定です。以降、パネルの更新に合わせた維持管理や新設パネル等への対応を行います。		
	指標					
	ページ閲覧数(累計)(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
			0	-	R6年度以降 設定	同左

14	ICTを活用した情報発信の充実	市長室				
●SNS等を活用した市民ニーズにあわせた情報発信の充実強化に取り組みます。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	SNS等による情報発信の検討・実施	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	前年度に引き続き、SNS等を活用し、市民ニーズに合わせた情報発信を行いました。		前年度に引き続き、SNS等を活用し、市民ニーズに合わせた情報発信を行います。			
	指標					
	市政情報を得るためにSNS（福岡市LINE公式アカウント）を利用したことがある人の割合（％）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
		17.8	23.0	30.0	30.0	
	市政情報を得るためにSNS（福岡市LINE公式アカウント以外のSNS）を利用したことがある人の割合（％）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
5.6		6.3	11.0	11.0		

15	HP「東区認知症オレンジちゃんねる」運用	区役所 (東区)			
●認知症ライフサポートワーカーを中心とした関係者の協力を得て、認知症に関する情報を得やすいHP「東区認知症オレンジちゃんねる」を令和3年8月に開設しています。 ●認知症への対応に関する動画を掲載するなど、今後も身近に感じられる情報発信を行い、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることのできるまちを目指します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	福岡市へHP本体移管				
	東区ページ運用	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	福岡市(福祉局)へHP本体移管作業を完了しました。 新たに動画を1本作成し、東区ページに掲載しました。		新たに動画を1本作成(令和6年8月時点)し、東区ページに掲載しました。		
	指標				
	ホームページ(東区ページ)のアクセス数(年間)(件)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
3,500		5,274	増加	増加	

16	若年者に対する消費者教育・啓発事業	市民局			
●契約に対する知識や社会経験が浅い若者が消費者トラブルに巻き込まれないよう、市内22大学及び専門学校等76校を対象に、若年者に多い消費者トラブルに関する注意喚起情報をメールにて随時配信し、学内ポータル掲示板への掲載及び学生へのメール送信を依頼します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	メール配信	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	市内22大学及び専門学校等82校を対象に、若年者に多い消費者トラブルに関する注意喚起情報をメールにて配信しました。		引き続き、市内の大学・専門学校等へ若年者に多い消費者トラブルに関する注意喚起情報をメールにて配信します。		
	指標				
	メール配信先の学校数(累計)(校)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
全校(98)			全校(104)	全校	全校

17	有料指定席券のネット販売システム	経済観光文化局			
●ボートレース福岡の有料指定席のネット販売を令和5年度より開始し、より利用しやすくスマートなボートレース場を目指します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	システム構築・運用開始 (R5.6～)	通常運用	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	令和5年6月12日より運用開始しました。特段トラブルも発生していません。 特に、令和5年8月22日～27日に開催されたSGボートレースメモリアルでは、有料指定席前売購入者のうち61%がインターネット発売システム利用、27日の優勝戦においては、インターネット発売だけで完売しました。		ネット購入が少ない一般戦での利用率向上を目指し、広報活動やキャンペーンを検討、実施しました。		
	指標				
	有料指定席売上のうちネット販売の占める割合(%)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		0	20	30	40


1. 暮らしのDX

18	誰もがデジタル技術による便利な市民サービスを活用できる環境づくり							
①	公民館等へのリモート窓口の導入（再掲）				総務企画局			
<p>●公民館等の市民に身近な施設にビデオ通話が可能な機器を設置し、市民が区役所等に出かけることなく、遠隔での手続きや相談などを可能にします。</p> <p>●令和3～4年度の実証実験の結果を踏まえ、令和5年度には、離島などの区役所から遠い地域の公民館や出張所等（20か所程度）にリモート窓口を導入しサービスを開始します。</p>	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	リモート窓口の導入		→		→		→	
	-		実施場所やサービス内容の改善		→		→	
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
	令和5年11月末から12月中旬にかけて、公民館11か所、出張所2か所の計13箇所、順次サービスを開始しました。			多くの市民に利用していただけるよう、公民館での体験会の開催、区役所窓口でのチラシ配布などにより、リモート窓口の周知を行います。				
	指標							
	利用者数（人）			現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
-				64	200	240		
②	公民館スマホ塾等の開催				市民局			
<p>●地域住民のデジタル化を支援するため、通信事業者の協力を得ながら、スマートフォンの使い方等を学べる講座（公民館スマホ塾）を開催するなど、公民館においてICTを活用した学習機会を提供します。</p>	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	講座等の開催		→		→		→	
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
	住民のニーズを踏まえ、ICTを活用した学習機会を提供しました。			引き続き、公民館における地域のデジタル化支援に取り組めます。				
	指標							
	公民館スマホ塾等の開催館数（累計）（館）			現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
				127	131	130	135	

2. まちのDX

I	公民連携の推進					
①	スマートシティ推進事業（公民連携ワンストップ窓口「mirai@」）				経済観光文化局	
●公民連携ワンストップ窓口「mirai@」（ミライアット）を通して、AIやIoTなどの先端技術等を活用した実証実験や共働事業などの民間提案の支援により、社会実装を促進し、社会課題の解決や行政サービスの高質化・効率化に取り組みます。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	実証実験の実施	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	令和5年度の「mirai@」への相談・提案件数は163件であり、うち18件が実証実験や共働事業等として実現・採択に至りました。		引き続き公民連携ワンストップ窓口「mirai@」を活用し、優れた民間提案を数多く引き出し、社会課題の解決等につながる実証実験等の支援に取り組みます。			
	指標					
	実証実験採択数及び共働事業実現数（累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			160	178	200	240
②	「福岡100」公民連携社会実装支援事業（福岡100ラボ）				福祉局	
●健康・医療・福祉などの分野における社会課題に対する企業等からの事業提案窓口「福岡100ラボ」において、デジタル技術等を活用した事業提案を受け付け、事業の共同実施から成果が出たソリューションの市内展開まで、一体的に支援を実施します。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	事業の公募・採択・社会実験・社会実装支援	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	福岡100のビジョンの実現につながる事業の提案を随時受け付け、その中で特に官民が共同で取り組むべきテーマに対して、社会実験を行う事業を募集して、提案企業と福岡市が共同事業を4件実施しました。		令和6年度に企業・市民の課題認識を起点とした共創プラットフォームへとリニューアルし、Well-Beingの向上や社会課題の解決を目指す企業の事業化支援等に取り組みます。			
	指標					
	事業実施件数（累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			0	4	6	12

2. まちのDX

2	データ連携基盤を活用した新たなサービスの構築（ポータルサイトの運用）（再掲）	総務企画局						
<div>●福岡市データ連携基盤を活用し、分野横断的な官民データの連携を行うとともに、ポータルサイトを通じて様々な分野のサービスを提供し、市民の利便性向上や安心して暮らせる社会の実現するための取り組みを推進します。</div> <div></div> <div>福岡市公式ポータルサイト 「ふくおかサポート」登録はこちらから</div>	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	プッシュ型通知の拡充		→		→		→	
	サービス実装		→		→		→	
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
	データ連携基盤を活用し、ポータルサイト「ふくおかサポート」からプッシュ型の情報提供を行うなど、データの利活用を推進しました。 プッシュ型の情報提供の10件拡大など全体で16件のサービス拡充を行いました。（うち、マイナンバーカード利活用サービス提供数：11件増）			引き続き、プッシュ型の情報提供サービスの拡大を図るとともに、官民データ連携によるサービスの創出を図ります。				
	指標							
	データ連携基盤を利活用したサービス提供数（官民合計・累計）（件）			現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
11				27	40	100		

2. まちのDX

3	オープンデータ等の推進								
①	オープンデータの充実				総務企画局				
●利用者のニーズを踏まえ、オープンデータとして公開するデータを充実するとともに、活用事例に関する積極的な情報提供を行います。 ●福岡都市圏の各市町などとも連携し、共通様式で公開するデータセットの充実を図ります。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		公開するデータセットの充実		→		→		→	
		活用事例の創出		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		庁内で保有するデータのオープンデータ化を進めるよう働きかけるとともに、民間企業や関連団体の協力のもと、データを活用できる人材（職員）の育成に取り組みました。			より使いやすいデータにするため、公開するデータの形式の見直しを行うなど、市民や企業のニーズを踏まえ、これまで以上にオープンデータの充実を図ることにより、市民や企業の利活用を推進します。				
		指標							
		データセット数（累計）（種類）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
430				436		450		470	
②	都市計画道路の整備状況のオープンデータ化				住宅都市局				
●現在、窓口及び電話による確認が必要な都市計画道路の整備状況（整備済・未整備）を「福岡市Webまっぷ」上に公開します。 ※現在は未整備区間のみ表示		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		Webまっぷ上に公開		→		→		→	
		適宜、整備状況等を更新							
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		Webまっぷ上に都市計画道路の整備状況を公開し、窓口や電話対応の際にWebまっぷの活用を案内しました。			引き続き、窓口や電話対応の際にWebまっぷの活用を案内し、問い合わせ件数の削減に努めます。				
		指標							
		都市計画道路の整備状況に関する問い合わせ件数（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
3,302				2,956		2,000		1,000	

2. まちのDX

3	オープンデータ等の推進				
③	施設のバリアフリー情報の提供				福祉局
●高齢者・障がいのある人をはじめ誰もが安心して外出することができるよう、施設のバリアフリー設備やサービス情報をホームページ上で提供しています。また、外出先でも利用できるようスマートフォンでの閲覧にも対応しており、積極的な社会参加を促進しています。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	ホームページの維持管理	→	→	→	
	登録施設情報の更新・追加	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	快適に利用できるよう、アクセシビリティの適正化・修正を行いました。		施設情報登録願いのチラシを作成し、建築事業者、設計事務所等に配布することで、掲載施設数の増加を図るなど、引き続きホームページの維持管理・登録施設情報の更新・追加に取り組みます。		
	指標				
	掲載施設数（累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
		929	942	1,000	1,020
④	福岡市文化財情報データベース化事業				経済観光文化局
●文化財活用部が保有する文化財関係データをデータベースとして整理、公開するとともに、博物館、美術館などの既存公開データベースとの統合、連携を図ります。 ●市民や研究者の利便性を高めるとともに、防災の観点からの整理を行います。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	現状整理、データ登録 各種文化財DBの統合	順次公開	→	→	
	一部公開開始	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	市内指定・登録・未指定文化財を含む情報をデータベースとして整理しました。 福岡市博物館デジタルアーカイブおよび福岡市の文化財文化財検索情報を、ジャパンサーチと連携しました。		福岡市美術館、福岡市総合図書館のデジタルアーカイブとジャパンサーチの連携に向けて取り組みます。 指定・登録文化財の公開を進めます。		
	指標				
	指定・登録文化財情報公開数（累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
		144	168	300	500

2. まちのDX

3	オープンデータ等の推進				
⑤	博多港航空写真の公開				港湾空港局
●使用許可申請を必要としている博多港の航空写真を公開します。		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		掲載写真の検討	→	→	→
		HP掲載	→	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		博多港HP(本市HP)へ令和4年度、5年度撮影の航空写真を掲載しました。		各年度撮影の航空写真の掲載を継続して行います。	
		指標			
		公開した写真の数(累計)(枚)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
0	36		20	40	

2. まちのDX

4	地域コミュニティにおけるデジタル化の推進							
①	自治協議会等のデジタルによる情報発信の支援						市民局	
●地域広報アドバイザー（各区地域支援課に配置）が、自治協議会、自治会・町内会が行うWebサイト制作やSNS活用への支援を行います。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	支援の実施		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	地域広報アドバイザーが自治協議会や自治会・町内会に対し、Webサイト制作やSNS活用に関する個別支援や研修等を実施しました。				デジタル化の事例を共有しながら、引き続き、個別支援や研修等を実施し、自治協議会や自治会・町内会のデジタルによる情報発信を支援します。			
	指標							
	アドバイザーによる支援開始後、デジタルによる情報発信を開始、充実した自治協議会等の数（累計）（団体）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
					0	54	45	90
②	公民館におけるタブレット端末の活用						区役所 （博多区）	
●公民館に配備したタブレットを用いて、自治協や公民館等でのリモート会議の開催や情報交換、公民館主催事業のオンラインによる市民参加等を強化していきます。 また主にタブレットを使用する主事のスキルアップのため、年に2回程度、タブレットの使用方法やブログ・SNS等を使った広報についての研修を開催します。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	主事研修の実施		→		→		→	
	公民館での各種リモート会議の実施		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	対面とオンラインによるハイブリッド型の公民館主催事業を8回開催、主事のスキルアップのための研修を5回（LINEリッチメニュー研修3回、広報研修2回）開催、公民館長及び主事を対象とした担い手発掘に向けたハイブリッド型の研修2回、自治協や公民館でのリモート会議を6回開催しました。				オンラインによる公民館主催事業（ハイブリット型を含む）を推進していくとともに、Googleフォームによるアンケート機能や動画編集など新しいタブレット活用方法についての主事向けスキルアップ研修を行います。あわせて自治協や公民館での各種リモート会議・研修を継続して開催します。			
	指標							
	自治協や公民館等が行うリモート会議等の活用件数（累計）（件）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
5					21	20	40	

2. まちのDX

5	地域の情報配信（安全・安心）								
①	ハザードマップの3D化						市民局		
●3D都市モデルを活用することで、災害リスクを直感的に分かりやすく可視化し、市民や企業等の災害リスクの理解がより深まり、防災意識の向上に寄与します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		ユースケースの検討		高潮、津波、土砂災害、洪水の公表		出前講座活用及び効果検証		内水の公表	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		ユースケースの検討を行いました。				3D都市モデルへの災害リスクの追加します。また、出前講座等で活用し効果を検証します。			
		指標							
		3Dハザードマップの公表（達成率・％）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
0				0		50		100	
②	防災アプリの利活用推進						市民局		
●防災アプリ「ツナガル+（プラス）」の利便性向上及び普及促進を行い、災害時におけるアプリを活用した自助、共助、公助を実現します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		普及促進		→		→		→	
		アプリ改修		→		アプリの改善点を継続検討		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		普及促進のため、防災フェアでの紹介、市民防災の日講演会等でチラシを配布する等の広報を行いました。また、利便性向上のため、各避難所の混雑状況の表示やハザード情報の参照などの機能追加を実施しました。				普及促進については、令和5年度の取組みに加え、市政だよりへの掲載や防災メール、LINE等ツールの活用、普及キャンペーンの実施などにより、広く市民の目に留まるよう広報を行います。アプリ改修については、ツナガル+に寄せられる様々な情報を自動分類し、災害対応の中核となる災害対応支援システムへ連携します。			
		指標							
導入数（累計）（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
		33,000		46,000		200,000		220,000	

2. まちのDX

5	地域の情報配信（安全・安心）				
③	IoTを活用した子ども見守り事業				市民局
●地域や企業の協力のもと、IoTを活用し、市内の小学生を対象とした見守りサービスを行う事業者を公募し、子どもの見守り体制の強化を図ります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	利用登録の促進	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	市内の小学生を対象に、希望者へ見守り端末を配付し、サービスを提供しました。 HPやチラシ等の配布、新入生説明会の機会での登録率向上及び見守り人アプリを増やすための広報を行いました。		引き続き、見守りサービスを提供するとともに、登録率向上の取組みを実施します。		
	指標				
	IoTによる見守りサービス利用登録率（％）		現状値 （4年度） 61.6	実績値 （5年度） 59.3	中間目標 （6年度） 増加
④	防犯情報配信事業				市民局
●福岡県警の防犯情報提供ツール「ふっけい安心メール」の情報を「福岡市LINE公式アカウント」を通じて即時的に発信します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	普及促進	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	福岡市LINE公式アカウントにより福岡県警の「ふっけい安心メール」などの防犯情報を発信しました。 また、各種チラシやTwitterを活用して事業を周知しました。		引き続き、防犯情報を発信し、登録者向上の取組みを実施します。		
	指標				
	「福岡市LINE公式アカウント」防犯・交通安全カテゴリ登録者数（実人数）（人）		現状値 （4年度） 64,692	実績値 （5年度） 70,619	中間目標 （6年度） 増加

2. まちのDX

5	地域の情報配信（安全・安心）				
⑤	下水道管渠内の水位情報の提供				道路下水道局
●大規模な地下街がある博多駅及び天神周辺の2地区を対象として、下水道管渠内に水位計を設置し、内水氾濫が発生する危険のある水位に到達した場合に、地下街や要配慮者施設の管理者に水位到達情報を伝達するとともに、市HPで下水道管渠内の水位を閲覧可能にすることにより、幅広く、市民に災害情報を提供し、避難確保等に役立ちます。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	博多駅周辺地区の下水道管渠内の水位情報提供（R2年度～）	天神周辺地区の下水道管渠内の水位情報提供	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	天神周辺地区における下水道管内に常設する水位計の設置工事、内水氾濫危険水位情報を通知するためのシステム及び下水道管渠内の水位をリアルタイムで閲覧できるHPの構築を実施しました。		令和6年5月27日に天神周辺地区の下水道管渠内の水位情報をHPの提供を含め開始します。		
	指標				
	下水道管渠内の水位情報を提供する地区数（累計）（地区）		現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）
1			1	2	2
⑥	東区防災情報のYouTube配信				区役所（東区）
●「ハザードマップ」の使い方や災害時にとるべき行動、避難所開設方法や防災訓練の様子など、市民や地域にとって役立つ防災に関する動画をYouTubeで配信します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	配信	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	地域の防災訓練や防災講和の際に、視聴を行うとともに、二次元コード付チラシを配布しています。		継続して、周知を行います。		
	指標				
	YouTube視聴回数（回）		現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）
3,400			5,000	増加	増加

2. まちのDX

6	地域の情報配信（イベント・魅力等）				
①	祭り運営のデジタル化促進事業				経済観光文化局
<p>●令和3年度に開発した「祭りシステム」を、「モバイルどんたく(通称:モバどん)」という名称で令和4年のどんたくから導入しました。</p> <p>●令和5年度以降は、どんたくに導入して生じた課題や外部の有識者の意見等を踏まえた改修を行います。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	どんたくでの活用	→	→	→	
	システム改修				
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	積極的な利用を登録団体や舞台運営者へ依頼しました。また、チラシ等にQRコードを掲載し、観覧客への利用を促進しました。		さらなる利用を促す方法を検討し、運営者や利用者が利用しやすいように必要な改修やマニュアルの整備などに取り組みます。		
	指標				
	モバイルどんたくPV数(回)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
975,711			997,261	1,500,000	2,000,000
②	史跡案内サインとホームページの連携による「西区の宝」魅力発信				区役所 (西区)
<p>●区内各所に設置している史跡案内サインの建て替えに合わせ、板面に記載した2次元コードから「西区の宝」ホームページに誘導することで、現地からもネットからも、西区の魅力ある自然や歴史、文化の「宝」をより詳しく知り、地域に親しむ仕掛けづくりを行います。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	史跡案内サインの建て替え	→	→	→	
	ホームページの内容更新	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	劣化の激しい史跡案内サインを確認し、改修対象を下記の通り選定し、実施しました。 ・光明寺、東林寺、白木神社、愛宕神社、飯盛神社、熊野神社(新設)		継続して、現地確認を行い、優先順位の高いものから順次改修を実施します。		
	指標				
	史跡案内サインの建て替え本数(累計)(本)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
4			10	14	20

2. まちのDX

7	MaaSの検討	住宅都市局		
●九州MaaSの構築を目的とした官民組織「九州MaaSプロジェクト研究会」等に参画し、市民や来街者の移動の利便性向上につなげます。	工程			
	5年度	6年度	7年度	
	・九州MaaSプロジェクト研究会への参加	・福岡県MaaS実行委員会への参加	(未定)	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
	「九州MaaSプロジェクト研究会」、「福岡県MaaS実行委員会」に参加しました。		「福岡県MaaS実行委員会」等に参加します。	

3. しごとのDX

I	中小企業、生産者等への支援				
①	生産性向上のための人材育成事業				経済観光文化局
●生産性向上に向けて社内のデジタル化を推進する人材を育成するため、経営層対象の経営セミナー、社員対象のIT導入スキル養成講座を実施します。 ※令和4年度開始 ※令和6年度以降は、より効果的な事業実施のため「中小企業デジタル化サポート事業(3-1②)」と統合した、「デジタル・ITを活用した生産性向上のためのトータルサポート」を実施。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	経営層向けセミナー				
	IT導入スキル養成講座				
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	経営層向けセミナー参加者数:延べ908人 ※オンライン再視聴含む。 IT導入スキル養成講座参加者数:60人		より効果的な事業実施のため、「中小企業デジタル化サポート事業(3-1②)」と統合した、「デジタル・ITを活用した生産性向上のためのトータルサポート」を実施します。		
	指標				
	経営セミナー参加者数(累計)※オンライン再視聴含む(人)	現状値(4年度)	実績値(5年度)	中間目標(6年度)	最終目標(8年度)
		347	1,255	-	-
	IT導入スキル養成講座受講者数(累計)(人)	現状値(4年度)	実績値(5年度)	中間目標(6年度)	最終目標(8年度)
30		90	-	-	

3. しごとのDX

I	中小企業、生産者等への支援									
②	中小企業デジタル化サポート事業								経済観光文化局	
●身近な中小企業がデジタル化で成功した事例やデジタル化する必要性をテーマとしたセミナーを開催するほか、市内中小企業に対して専門家を派遣（最大5回）し、生産性向上に向けた取組みを伴走型で支援します。 ※令和4年度実施事業を統合（旧：オンライン活用型事業再構築サポート事業、企業間取引デジタル化推進事業） ※令和6年度以降は、より効果的な事業実施のため「生産性向上のための人材育成事業（3-1①）」と統合し、「デジタル・ITを活用した生産性向上のためのトータルサポート」を実施。	工程									
	5年度		6年度		7年度		8年度			
	セミナーの実施		→		→		→			
	専門家派遣		→		→		→			
	令和5年度の実施状況					令和6年度以降の取組み				
	セミナー参加者：延べ227人 専門家派遣社数：50社					より効果的な事業実施のため、「生産性向上のための人材育成事業（3-1①）」と統合し、「デジタル・ITを活用した生産性向上のためのトータルサポート」として実施します。				
	指標									
	専門家派遣を受けた企業のうち、生産性向上に効果が あったと回答した企業の割合（％）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
					60	80	－		－	
	企業間取引をデジタル化している企業の割合（％）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
67					83	－		－		
③	DX推進エコシステム形成事業								経済観光文化局	
●共助型のDXコミュニティを形成、DX事例発表交流会やアドバイザー派遣、伴走支援を実施し中小企業のDXを推進します。 ※FITCO（福岡市IoTコンソーシアム）を、fdx.community（福岡DXコミュニティ）へ名称改定して実施	工程									
	5年度		6年度		7年度		8年度			
	DX着手企業の増加		DX事例の創出		→		→			
	令和5年度の実施状況					令和6年度以降の取組み				
	コミュニティの活性化のための交流会、勉強会、事例発表 会の実施：47回 DX なんでも相談窓口の設置 DX伴走支援					交流会、勉強会、事例発表交流会の実施 DX なんでも相談窓口の提供 DX伴走支援 DX インタビュー				
	指標									
	新たにDXに取り組み始めた中小企業（ユーザー企業） （社）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
					－	5	5		10	

3. しごとのDX

I	中小企業、生産者等への支援										
④	エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進						経済観光文化局				
●国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによる新サービス等を通じて経済成長を図るため、エンジニアカフェの運営やアワード、人材育成プログラムの実施、WebサイトやSNS等でのエンジニアに関する情報発信等を実施します。		工程									
		5年度		6年度		7年度		8年度			
		エンジニアカフェの運営		→		→		→			
		人材育成プログラム等の実施		→		→		→			
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み					
		エンジニアカフェ実績 イベント開催回数:342回(参加者:5,094人) 開発コンテストの実施(延べ参加者数:300人) アワード表彰(2コミュニティ、3企業、4チーム) デジタル人材育成プログラムの実施 修了者20名、マッチング件数6人				エンジニアカフェでのイベント等実施 エンジニアコミュニティ活性化の支援 開発コンテスト、アワードの実施 デジタル人材育成プログラムの実施 エンジニアビザ制度の活用					
		指標									
		相談件数(件)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)		最終目標 (8年度)	
				520		509		530		540	

3. しごとのDX

I	中小企業、生産者等への支援				
⑤	農産物等のEC活用推進				農林水産局
●EC（電子商取引）に取り組む農家等へ、販売力向上につながるサポートを実施するとともに、市内産農産物を使用した加工品の開発に係る助言等を行い、新たな商取引形態への取組みを促進します。		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		モニター農家に対するEC活用支援、アグリDXプロジェクトの広報	6次産業化・ブランド化支援の一環で、販路拡大の手法の1つとしてEC活用を支援	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		①モニター農家に対するEC活用支援 選定したモニター農家に対して、ECにて販売するにあたっての各種支援を実施しました。 また、単発で利用できるアドバイザー派遣制度を設け、農家に対してECに関しての助言等を実施しました。 ②アグリDXプロジェクトの広報業務 SNSによる動画配信、広報動画の公開により、モニター農家の取組みを広報しました。		ECに係る農家の需要が想定より低い実態を受け、より制度を有効活用できるよう、支援対象に市内産農産物を使用した加工品開発者を含めるとともに、ECを含めた農産物の6次産業化・ブランド化全体に対するアドバイザー派遣制度（単発派遣に一本化）とします。	
		指標			
		ECを活用し販路拡大に取り組んだ農業者数（累計）（者）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
19	20		22	30	

3. しごとのDX

I	中小企業、生産者等への支援								
⑥	スマート農業の推進						農林水産局		
●AI・IoT等の先端技術を活用したスマート農業の生産現場への普及に向け、産地の課題解決に効果的な実証実験を実施し、生産性・所得の向上につなげていきます。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		実証実験、効果検証、PR等		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		実証実験(3件) ドローンを使用したトマトハウスへの遮光剤の塗布 ドローンを使用した育苗センターでの薬剤散布 アシストスーツを使用した労働者の負担軽減 防除履歴システム使用料の助成(71件) 研修会の実施			実証実験 防除履歴システム使用料の助成 研修会の実施 スマート農業マッチングプロジェクト				
		指標							
		新たにAI・IoT等のデジタル化を取り入れる生産品目数(品目)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
2	6			4	4				
⑦	スマート水産業の推進						農林水産局		
●ICTブイや水中ドローンなどの活用により漁業・養殖業の省力化・効率化を図ります。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		ICTブイによるデータの蓄積		→		→		→	
		水中ドローンの活用方法の検討		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		令和4年度に引き続き、ICTブイを用いて、海水温や塩分濃度等のモニタリングを行いました。 また、水中ドローンを用いて、定置網の状況を確認する等、作業効率化への効果を検証しました。			令和5年度に引き続き、ICTブイや水中ドローンを活用し、漁業・養殖業の省力化・効率化に向けた検討を行います。				
		指標							
ICT機器等の活用事例数(累計)(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)				
		1	2	2	4				

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化								
①	電子契約の推進						財政局		
●契約書への押印や書類の持参に係る手間を省略できるなど、契約相手方の利便性の向上のため、電子契約の利用を推進します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		財政局契約課契約のうち 電子入札案件（随契含む） の一部		→		→		財政局契約課契約のうち 電子入札案件（随契含む） 全件	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		財政局契約課が契約する案件で、一般土木A・B、建築A・B、電気A、管A、は装A、造園Aの工事または予定価格1億円以上の工事のうち、相手方が希望するものを対象として実施しました。			対象案件について、工事の業種や委託・物品への拡大を検討します。				
		指標							
受注者が電子契約を選択することが可能な契約案件数（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
		30		309		330		2,000	
②	工事書類提出の電子化						財政局		
●電子入札対象工事のうち、一定規模以上の工事における工事書類の提出方法について、電子メール等の活用を推進するとともに、工事の完成時に納品される成果物について、電子データでの提出とすることとし、これにより業務の効率化を図ります。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		電子納品の 推進		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		電子データと紙の二重提出を求めない等、工事書類の提出方法に関する現行ルール of 徹底について関係課に周知し、工事書類提出の電子化の推進を図りました。			工事書類の電子化や電子データによる提出等について関係課に働きかけ、業務効率化を図ります。				
		指標							
電子入札対象工事のうち電子納品を実施した工事の割合（％）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
		60		66.5		70		80	

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化					
③	ICTを活用した施工管理の業務効率化				財政局	
●これまで紙ベースで提出されていた工事書類を、令和4年4月から電子データでも提出できるようにしており、今後もペーパーレス化を図り職場環境を向上させます。 また、SNSやビデオ会議システム等のICT活用を含めて、施工管理関係者の利便性向上を目的とし、業務効率化を図ります。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	・周知、広報、研修会の実施 ・工事書類電子化の実施	→	→	→		
		・マニュアル改訂 ・工事写真電子化の検討	工事書類電子化の試行 (工事写真等)			
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	施工計画書・承諾図・施工体制台帳(以下工事書類)の電子化に関して、業界団体に向けて研修会を実施し周知を図り、工事書類電子化を100%達成しました。また令和6年度・令和7年度に予定していた「マニュアル改訂・工事写真電子化・工事書類電子化の試行」を前倒して実施しました。		工事写真電子化による運用を開始します。			
	指標					
	工事件数に占める工事書類電子化の割合(%)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
20			52	60	80	
④	医薬務関係手続きのオンライン化				保健医療局	
●医療法等で規定された医療機関及び薬局等に必要な手続きについて、オンライン化を進めます。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	未オンライン化手続きの事務処理方法等の検討	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	手数料を要する手続きについて、決済方法等の検討を行いました。また、窓口で原本確認を要する書類の取扱い等について、他都市の事例等の情報収集を行いました。		申請方式について、従来のファイル添付方式からフォーム入力方式へ改良することで、控の交付を可能とし、利用者の利便性向上を図ります。 手数料を要する手続きについては、クレジットカード決済に係る調定処理等について、関係部署と調整を行います。			
	指標					
	オンライン手続き可能な手続き数(累計)(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
			67	67	99	154

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化							
⑤	事業系ごみ減量・リサイクルシステム（福岡市ごみと資源物のポータルサイト）の構築						環境局	
●市内特定事業用建築物約5,000棟（事業用面積が1,000㎡を超える建築物）に対し、条例で提出を義務付ける「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出及び廃棄物のデータ管理等が可能となるシステムを導入します。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	システム稼働開始		→		→		→	
	未利用事業者を訪問し システム利用を周知		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	稼働初年度から最終目標値を超えることができました。				システム以外で提出している事業所に対し、引き続きシステムでの提出を求めています。			
	指標							
	システムを利用した計画書提出率（％）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
0					84.6	57	80	
⑥	立地交付金の申請手続きにおけるDXの推進						経済観光文化局	
●立地交付金の申請手続きにおいて、オンラインによる申請受付を推進します。審査業務においては、RPAやAI－OCRを活用し、業務の効率化、迅速化を図ります。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	システム構築		システム構築		システム構築		運用保守	
	オンライン申請の周知		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	AI－OCRやRPA導入に向けたシステム設計を実施しました。				システム構築及び運用保守を実施予定です。			
	指標							
	オンライン利用率（％）				現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
0					0	50	90	

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化								
⑦	屋外広告物に係る行政手続きのオンライン化						住宅都市局		
●屋外広告物許可及び屋外広告業登録等の手続きについて、電子申請システムを活用したオンライン手続きの利用を促進します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		手続き方法の周知		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		オンライン手続きについてのチラシを屋外広告物許可更新通知に同封することで、手続き対象者に対する効果的な広報を行いました。			引き続き、オンライン手続きの利用促進に努めるとともに、行政側の事務効率化を推進し、より円滑な対応による市民サービス向上を目指します。				
		指標							
		オンライン利用率（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）		
12	25.2			30	35				
⑧	土地区画整理法第76条の許可申請の受付方法の拡充						住宅都市局		
●土地区画整理法第76条の規定による建築行為等の許可申請手続きについて、オンライン手続き（電子メール）の利用を促進します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		手続き方法の周知		→		→		→	
		令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
		全12件のうち5件がオンライン申請であり、認可通知は12件すべて電子メールで送付しました。			引き続きホームページでの周知と窓口申請を受け付けた際にオンライン申請を案内します。				
		指標							
		オンライン利用率（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）		
35	42			50	65				

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化				
⑨	特定建築物等の定期報告のオンライン化				住宅都市局
●建築基準法第12条に基づく建築物等の定期報告について、すべての対象物でオンライン報告を可能にするとともに、オンライン手続きの利用を促進します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	オンライン報告（一部）開始	→	追加のシステム開発	オンライン報告（全て）開始	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	建築物のうち、共同住宅を対象としてオンライン手続きの適用を開始しました。		令和6年度よりオンライン手続きの対象範囲を拡大しました。 （建築物のうち、共同住宅のみ⇒全ての建築物） 建築設備、防火設備のオンライン手続きに対応するため、令和7年度に追加のシステム開発を行う予定としており、令和8年度よりすべての報告でオンライン手続きできるようになります。		
	指標				
	全報告数に対するオンラインによる報告数の割合（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
0			51	51	90
⑩	資源物地域集団回収等報奨金申請のオンライン化				区役所 （南区）
●資源物の集団回収を実施する町内会等の地域団体からの申請をオンラインで受付可能とし、団体・区役所双方の事務負担軽減を進めます。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	オンライン申請運用	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	資源物地域集団回収等報奨制度に参加する331団体の50団体からオンライン（電子メール）による報奨金申請を受け付けました。		より安全安心なオンライン申請体制の構築に努めることでオンラインによる申請件数の増加に取り組みます。		
	指標				
	オンライン利用率（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
10			15.1	20	30

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化								
⑪	公園愛護会活動報告のオンライン化						区役所 (早良区)		
●公園愛護活動(月1回以上の公園の清掃や点検を行っていただく事業)の報告をインターネットからも可能にするとともに、他区への横展開を進めます。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		他区への横展開		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		中央区、南区、早良区において導入しました。				引き続き、未導入区への説明を実施します。			
		指標							
		導入している区数(累計)(区)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)	
1				3		7		7	
⑫	火災予防手続きのオンライン化						消防局		
●火災予防分野における届出などの各種手続きについて、オンライン化を推進します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		オンライン手続きの追加		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		火災予防手続きの中で、比較的届出件数の多いものから順次オンライン化し、令和5年度中に127の手続きのオンライン化を完了しました。				オンライン化が未完了の手続きについて、引き続きオンライン化を推進します。			
		指標							
		オンライン化する火災予防手続き数(累計)(件)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)	
120				247		325		325	

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化								
⑬	地下埋設物確認調査受付及び回答サービスの構築						水道局		
●現在、地下埋設物確認調査（水道管の埋設位置の確認等）の受付・回答については、窓口で対応していますが、電子申請による受付及び回答を可能にします。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		本格運用		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		電子申請システムを活用して地下埋設物確認調査申請の仕組みを構築し、令和6年1月から運用を開始しました。				地下埋設物確認調査の電子申請利用率向上に向けて、現状分析と課題の抽出を行います。			
		指標							
		窓口対応件数（減少割合）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
-				30%減		20%減		50%減	
⑭	インターネットを利用した水道管埋設状況確認サービスの構築						水道局		
●現在、水道管（配水管や給水管）の埋設状況の確認については、窓口にて対応していますが、インターネット上で水道管の埋設状況確認を可能にします。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		システム構成検討		実装		公開		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		インターネット上で水道管の埋設状況を公開する仕組みの構築に先立ち、他都市調査、公開内容及び利用するシステムの検討、関係各所との調整等を行いました。検討の結果、福岡市Webまっぷを活用して、インターネット公開を行う仕組みを構築することとしました。				インターネット上で水道管の埋設状況確認を可能にする仕組みを開発し、令和7年1月からインターネット公開を開始します。			
		指標							
		窓口対応件数（減少割合）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
-				-		-		20%減	

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化				
⑮	給水装置工事（一時用）申請の導入			水道局	
●現在、給水装置工事（一時用）の申請については、（公財）水道サービス公社の窓口で受付を行い、対面による書類審査を実施していますが、窓口の混雑緩和を図るため、電子申請により事前に書類審査を行うことを可能とします。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	本格運用	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	給水装置工事の申請窓口において、電子申請に関するポスターの掲示や福岡市水道局HPへの掲載を行いました。 指定給水装置工事事業者の一部の事業者で作られている組合へ電子申請の利用を呼び掛けを行いました。 （補足）給水装置工事に関する申請等は、指定給水装置工事事業者しか行うことができません。		指定給水装置工事事業者に申請窓口での案内や指定給水装置工事事業者の定期講習会にて利用の呼び掛けを行います。 操作方法に関する個別相談を行います。 利用率向上のため、利便性に関する改善策を検討します。		
	指標				
	オンライン利用率（％）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		-	1	20	50

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化														
⑩	給水審査・検査等窓口のオンライン予約サービス			水道局											
<p>●現在、給水装置工事の審査や検査等については、来庁後、受付簿にお名前等を記入いただき、順番まで待合ロビー等でお待ちいただいておりますが、予約や待ち状況等をWEBで確認できるサービスを導入します。</p>						工程									
						5年度		6年度		7年度		8年度			
						サービス導入		→		→		→			
						令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み					
						システム機器 (iPad) 及び通信設備 (インターネット、WiF i) などの環境整備を令和5年12月に完了させ、公社ホームページの改修に合わせて、令和6年3月18日より「給水装置工事申請・検査受付オンライン予約システム」の運用を開始しました。本システムはスマートフォンやパソコンから、給水装置工事申請・検査受付の現在の順番待ち状況がリアルタイムで分かるものとなっており、また、窓口予約を行うと利用者に順番呼び出しの通知が事前にLINEまたはメールで届くことにより、順番待ち時間短縮や窓口の混雑緩和等、利便性の向上に繋がっています。				「給水装置工事申請・検査受付オンライン予約システム」については、利用者から高評価をいただいております、引き続き、利便性の向上に取り組めます。					
						指標									
						オンライン予約システム利用率 (100%)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)		最終目標 (8年度)	
								-		100		100		100	

3. しごとのDX

2	経済活動における行政手続き等のオンライン化										
⑰	埋蔵文化財手続きのオンライン化				経済観光文化局						
●これまで窓口で行っていた埋蔵文化財包蔵地の確認や、包蔵地内での工事届出等の手続きのオンライン化を進めます。		工程									
		5年度		6年度		7年度		8年度			
		オンラインの普及促進		→		→		→			
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み					
		埋蔵文化財包蔵地の確認方法（窓口に来なくてもインターネットで確認できること）を周知しました。				窓口タブレットを設置し、埋蔵文化財包蔵地の確認はインターネットでできることを実際に示し、窓口に来る必要がないことを周知します。					
		指標									
		窓口・包蔵地問い合わせ件数（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）		最終目標 （8年度）	
				15,225		8,205		10,000		5,000	

3. しごとのDX

3	ICTを活用した日常生活の安全・安心の確保				
①	ICTを活用した環境・食品衛生監視指導				保健医療局
●ICTを活用し、環境衛生関連事業者、食品関連事業者等に対する監視指導や講習会の実施に取り組みます。 ●タブレット端末及びzoom有料アカウントを各区衛生課に配備することで、監視指導のデジタル化、事業者向けウェブ講習会の実施等に取り組む環境を整備します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	ICTを活用した監視等業務の検討・実施	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	タブレット端末及びzoom有料アカウントに係る予算を要求しました。		令和6年6月に、タブレット端末及びzoom有料アカウントを7区衛生課に配備しました。		
	指標				
	ICTを活用した監視指導の環境が整備済みの区（環境衛生）（区）	現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）	最終目標（8年度）
		-	0	7	7
	ICTを活用した監視指導の環境が整備済みの区（食品衛生）（区）	現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）	最終目標（8年度）
		-	0	7	7

3. しごとのDX

3	ICTを活用した日常生活の安全・安心の確保					
②	ICTを活用した環境・食品衛生に関する啓発事業				保健医療局	
●ICTを活用し、市民、環境衛生関連事業者、食品関連事業者等に対してより効果的に環境・食品衛生に関する情報発信を行います。	工程					
	5年度		6年度		7年度	8年度
	ICTを活用した啓発		→		→	→
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み		
	【環境衛生】 事業者向け衛生講習会の動画を作成し、YouTubeで公開しました。 区役所に設置されているデジタルサイネージを利用し情報発信しました。 【食品衛生】 食中毒予防啓発動画を作成し、YouTubeで公開しました。 市(区)公式アカウントのSNS(X(旧Twitter)、Facebook)による情報発信を行いました。 オンラインによる市民向け講習会を実施しました。			【環境衛生】 オンラインによる講習会等について、全区展開を検討します。 【食品衛生】 ICTを活用した市民向けの情報発信や、オンラインによる出前講座等を行います。		
	指標					
	ICTを活用した啓発を実施している区（環境衛生） （累計）（区）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			5	5	7	7
	ICTを活用した啓発を実施している区（食品衛生） （累計）（区）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			6	7	7	7

4. 行政のDX

I	DXを前提とした業務プロセス見直しの推進				総務企画局			
●デジタル化・オンライン化を前提として、各局区の業務プロセスの見直しの取組みを支援し、業務の効率性と生産性を高めます。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	業務分析等の実施		→		→		→	
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み				
	区役所の業務を中心に、業務改善の提案を行い、保育所の利用調整結果や空き状況を確認できるウェブサイトを開示するなどの改善を行いました。			引き続き、局区における、デジタル技術の活用等を前提とした業務プロセスの見直しによる、業務の効率性・生産性の向上に取り組みます。				
	指標							
	職場において、ICTの活用により業務の効率化が図られていると思う職員の割合（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）		
			48.0	48.3	60	75		

4. 行政のDX

2	RPA、AI－OCRを活用した業務の効率化と職員の事務負担の軽減				総務企画局	
<p>●行政事務のうち定例的・定型的な作業について、RPAやAI－OCRを活用し、業務の効率化や職員の事務負担の軽減につなげます。</p> <p>※令和元年度以降、庁内の業務に順次導入を図っており、令和3年度は年間13,270時間に相当する業務自動化を行っています。</p>	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	庁内の業務へ順次導入	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	削減効果が高い業務を選定してRPAの開発を行い、庁内の20業務にRPAを導入しました。また、AI－OCRを25業務に導入し、業務の効率化を図りました。		引き続きRPAやAI－OCRの導入を進め、業務の効率性・生産性を高めます。			
	指標					
	RPA・AI－OCRの導入業務の数（全市の累計）（件）		現状値 （3年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			160	263	267	327
年間削減時間数（全市）（時間）		現状値 （3年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
		13,270	40,139	30,000	38,000	
①	RPAを活用した水道の入居・転居に係る事務負担の軽減				水道局	
<p>●入居・転居に係る受付処理等において、RPAの活用を推進しておりますが、登録方法を統一化することで、処理件数の大幅な増加を実現しました。</p> <p>●今後も入居・転居に係る受付処理等において、RPAの活用をさらに推進し、お客さまセンター等の業務量の削減を図ります。</p>	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	処理対象の検討及び開発	終了	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	令和5年度は前年度に引き続き入居・転居の受付内容の登録時にテンプレートを活用し実施しました。令和6年1月からは料金系システムが更新されたため、RPAの処理が不要となりました。		令和6年度については、料金系システム更新によりRPAの処理が不要となったため、事業を終了します。			
	指標					
	RPAによる処理件数（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			82,900	59,363	-	-

4. 行政のDX

2	RPA、AI-OCRを活用した業務の効率化と職員の事務負担の軽減				
②	陳情システムへのアップロード自動化				区役所 (西区)
●インターネット上の陳情受付処理システムへのアップロードについて、インターネット接続に伴うタイムロスや昼間の区役所の通信負荷を軽減し効率化を図るため、夜間に自動的に陳情内容をアップロードできるRPAを導入し運用します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	維持更新	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	RPAの導入が完了しました。		通信環境の改善により、アップロード時間が短縮されたことから、今後は通信不具合が発生した際にRPAを運用する予定です。		
	指標				
	入力作業時間の短縮(仕事の効率化)(%)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
15~80			0	15~80	15~80

3	ICTを活用した公民館運営業務の効率化・自動化の推進					区役所 (早良区)
●ICTを活用し公民館運営業務の自動化・効率化を推進し、他区への横展開を進めます。 ①RPAを活用した報償費支払・法定調書作成業務、公民館報告メールの自動振分・保存機能の開発・導入 ②「公民館運営報告利用人数集計システム」の開発・導入 ③公民館の公共料金・物品購入等の支払業務効率化の検討	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	①②早良区での導入、他区への横展開	→	→	→		
	③改善方法検討	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	①・②現在、7区中6区に導入しており、各種業務の効率化が図られています。 ③公共料金のうち水道・ガス料金について、クレジットカード払いを導入しました。(7区公民館担当課で導入済み)		①・②残りの1区については、独自に効率化を図っている業務もあることから、さらなる効率化が見込まれる機能について、導入を勧めていきます。 ③物品購入等の支払業務の効率化について、総務企画局と連携しながら、引き続き検討を行います。			
	指標					
①②導入している区数(累計)(区)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)	
		6	6	6	7	

4. 行政のDX

4	AIを活用した議事録作成支援サービスの提供	総務企画局			
●議事録の作成に係る職員の作業時間を削減し、事務の効率化を図ることを目的に、令和元年度からAI（人工知能）による音声自動テキスト化技術を活用した議事録作成支援サービスを導入しています。 ●引き続き、庁内向けの周知や研修の実施など利用促進に取り組むとともに、最新の技術を用いたサービスを取り入れていくなど、更なる業務効率化を図ります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	庁内周知等による利用促進	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	事務作業の効率化を進めるため、AIを活用した議事録作成支援システムの積極的な活用を目的とした庁内への周知や職員ニーズに応じたシステム機器の変更など利便性が向上する取組みを実施しました。		AIを活用した議事録作成支援システムのさらなる活用を進めるため、わかりやすい周知と運用面の改善に努めます。		
	指標				
	AI議事録によりテキスト化した会議等の時間（全庁合計）（時間）		現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）
		1,134	1,862	1,400	1,750

5	AIチャットボット等を活用した庁内問合せ業務の効率化	総務企画局			
●全庁OAシステムにAIチャットボット機能等を導入し、問合せ対応の業務効率化、事務負担軽減を推進します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	チャットボットの導入検討	チャットボットの導入見直し 既存機能等を活用した効率化の検討・実施	既存機能等を活用した効率化の実施	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	現行の全庁OAシステムへのAIチャットボット等の導入検討を行っていましたが、新システムへの移行の検討開始に伴い、導入を保留しました。		新たな全庁OAシステムへの移行決定に伴い、現行システムへのAIチャットボット等の導入を見直し、庁内問い合わせ業務の効率化については、既存の機能等を活用した手法による実施を検討します。		
	指標				
	庁内問合せの効率化を実施した業務数（累計）（件）		現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）
		0	0	5	10

4. 行政のDX

6	業務アプリ作成ツールの活用				
①	AppSuiteを活用した業務の効率化と職員の事務負担の軽減				総務企画局
<p>●業務アプリ作成ツールAppSuiteを活用した業務効率化、事務負担軽減を推進します。</p> <p>※AppSuiteとは、全庁OAシステムの機能で、簡易的なアプリケーション開発ができ、蓄積データの出力やグラフ作成なども簡単にできるツールです。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	操作研修の実施	→	→	→	
	庁内周知	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	研修資料、研修動画、アプリ用アイコン集の公開を行うなど利用拡大を推進しました。		引き続き、問い合わせ対応や研修実施等を通じて、利用拡大を推進します。		
	指標				
AppSuiteによるアプリ作成数(個) ※各年度末時点		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		529	913	900	1,100
②	AppSuiteを活用した職員向けの窓口案内検索システム				区役所 (城南区)
<p>●市民からの問い合わせに対して、担当職員以外でも、正確かつスムーズに担当窓口が案内できる支援システムにより、市民サービスの向上を図ります。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	内容更新	→	→	→	
	運用	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	各課において業務内容の情報を確認し、情報の更新を行いました。 給付金のコールセンターなどの区以外の窓口情報を新たに追加しました。		引き続き、今後も各窓口情報の充実化を行い、市民サービスの向上を図ります。		
	指標				
来庁者アンケートにおける市民満足度(%)		現状値 (3年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		90	92.1	92	93

4. 行政のDX

7	入力・印刷作業等の自動化			区役所					
①	介護保険、高齢者福祉、障がい者福祉業務			東区					
下記業務における、業務システムへの入力や、通知書の印刷作業などを簡単な操作で自動化します。 【介護保険】 ・保険料関係業務 ・被保険者資格関係業務 ・負担割合関係業務 ・高額介護サービス費業務 等 【高齢者福祉】 ・おむつサービス ・あんしんショートステイ ・緊急通報システム 【障がい者福祉】 ・重度障がい者福祉手当		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		業務自動化の実施		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		【介護保険】保険料関係についてはおおむね自動処理を行うことができたが、給付関係については短期間で膨大な事務処理をこなす負担限度額認定関係のみを自動化による処理を行いました。 【高齢者福祉】各種申請および月次処理等において、マクロを利用し、システム入力・決定通知書作成を行っています。 【障がい者福祉】自動処理を導入したExcelに申請者の福祉個人番号を入力してマクロを自動化させると自動的にシステムで申請者を検索し、申請書受理日の入力処理を行います。Excelは事前に本庁から届いているリストを活用します。				【介護保険】令和5年度の実績をベースとして、さらに給付関係で自動処理を行えないか検討を行います。 【高齢者福祉】令和5年度同様、マクロが利用可能な処理については積極的に利用し、作業の効率化を図ります。 【障がい者福祉】重度障がい者福祉手当について、令和6年度は左記に同じです。令和7年度以降は外部委託予定です。			
		指標							
		業務効率化件数(件)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)	
38,350				26,220		増加		増加	
②	税関係業務			東区					
下記業務における、入力・印刷作業などを簡単な操作で自動化します。 ・寡婦調査の対象者検索 寡婦控除対象者リストに、電算システムの登録情報を入力する作業を自動化することで、調査対象者の絞り込み作業を効率化 ※年間 約3,500件 (使用率100%) ・固定資産税家屋評価 タワーマンションなどの区分所有家屋の電算入力の自動化 ※区分所有家屋が建築された際に活用しているため、目標値はなし。 (使用率100%)		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		業務自動化の実施		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		<寡婦調査の対象者検索> 寡婦調査件数 3,524件 <固定資産税家屋評価> 区分所有家屋の電算入力件数 688件				<寡婦調査の対象者検索> 寡婦調査件数 約3,500件(見込み) <固定資産税家屋評価> 対象となる家屋が建築された際に実施			
		指標							
		業務効率化件数(件) ※6年度、8年度の指標は、寡婦調査件数のみ		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)	
7,562				4,212		3,500		3,500	

4. 行政のDX

7	入力・印刷作業等の自動化					区役所			
③	その他各種手続き・申請等					東区			
<p>下記業務における、入力・印刷作業などを簡単な操作で自動化します。</p> <p>・外国人転入者関係業務 ・選挙関係業務 ・新型コロナウイルス感染症関係業務 ・人権セミナー等の主催事業関係業務 ・公園愛護会関係業務</p>		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		業務自動化の実施		業務の終了		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		新型コロナウイルス感染症関係業務は公費申請書を郵送で受理または電子申請システムで受理し、郵送申請分をAPP(アプリケーションソフトウェアの略称で特定の用途や目的のために設計されたソフトウェアのことです。)へ手入力していましたが、令和5年5月に自動化処理を導入しました。申請情報をエクセル入力の際に、自動化処理を使用し入力、データ処理し、APPのインポートをできるようになりました。公園愛護会関係業務は公園愛護会に送付する各種書類を一度で選択し印刷を実施できました。				令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症が、感染法上の5類の位置付けとなりました。公費負担の内容は、段階的に縮小され、令和5年度末に事業終了しました。公園愛護会関係業務については令和6年度以降も実施します。			
		指標							
		業務効率化件数(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
				3,310	454	なし	なし		
④	公園愛護会関係業務					南区			
<p>●公園愛護会関係業務において、団体への送付資料における公園名等の入力作業や愛護会別の必要な送付資料の選択、印刷作業などを簡単な操作で自動化します。</p>		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		業務自動化の実施		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		愛護会団体一覧より重複(送付先の同じ団体)を除いた送付先を自動抽出できるようにしました。				引き続き、データの整理を行い、自動化を目指します。			
		指標							
		業務効率化件数(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)		
				235	244	継続	継続		

4. 行政のDX

8	モバイルワーク環境の整備推進	総務企画局			
●モバイルワーク環境を整備し、モバイル端末等の活用を推進します。 ※出張や外勤が多い部署において、外出先から庁内システムを安全に利用できるモバイルワーク用タブレット端末約300台導入済み。 ※本庁舎の全フロアへ庁内無線LAN導入済み。職員用パソコンを、モバイルワークに適したノートパソコンへ段階的に切り替え中。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	次期庁外モバイルワーク環境の検討	次期庁外モバイルワーク環境の構築	次期庁外モバイルワーク環境の運用	→	
	庁内モバイルワーク環境の整備	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	次期モバイルワーク環境の整備に向け、情報収集及び導入手法の検討などを実施しました。 庁内モバイルワーク環境の整備として、各区役所及び保健福祉センター、港湾空港局の各庁舎に庁内無線LANの整備を実施しました。		次期モバイルワーク環境の整備として、新たなテレワークシステムの導入を行います。 消防局本部の庁舎に庁内無線LANの整備を実施します。		
	指標				
	庁内無線LAN対応庁舎数(累計)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
1			9	10	12

9	ペーパーレスの推進	総務企画局			
●庁内無線LAN、ノートパソコンやWeb会議等、ICTを活用したペーパーレスの取組みを推進します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	庁内無線LANの整備 (区役所等)	→	→	→	
	庁内無線LAN対応 ノートパソコン等への切替	(完了)			
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	各区役所・保健福祉センター、港湾空港局の庁舎への庁内無線LAN整備を実施しました。 全庁OAパソコン等について、約1900台をデスクトップ型からノートパソコンへの切替えを実施しました。		消防局本部庁舎への庁内無線LAN整備を実施します。 約3,400台をノートパソコンへの切替えを実施します。		
	指標				
	一括導入複合機1台あたりの年間平均印刷枚数(枚)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
176,000			169,000	156,000	138,000

4. 行政のDX

10	ICTを活用した日常生活の安全・安心の確保				
①	オンラインを活用した監視指導・外部協議等の実施			保健医療局 （博多区）	
<p>●食中毒調査やイベント監視時等：現場の職員へのオンラインでの指示、情報提供を行います。</p> <p>●講習会時：食品関係事業者やバザー運営者等に対するオンライン衛生講習会を行います。</p> <p>●その他、市民啓発（食品衛生月間での市民啓発イベント）での活用等を行います。</p> <p>●大規模開発プロジェクト時等：遠方の事業者に対するオンライン事前相談対応を行います。</p> <p>●管轄施設の監視指導時：事業者と事務所を結んだオンライン監視指導を行います。</p> <p>●医療監視時：オンライン事前説明会や監視後のオンライン講評を行います。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	オンライン監視の実施	→	→	→	
	オンライン説明・講習会の実施	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	オンライン遠隔監視実施 11件 オンライン講習会・説明会 10件 オンライン相談 2件		食中毒調査やイベントにおけるオンラインでの遠隔監視事業者等へのオンライン講習会及び説明会 事業者等に対するオンライン相談 管轄施設の検査等におけるオンラインでの監視指導		
	指標				
対象事業実施数に対してオンラインを活用した施設の割合（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		-	46	40	50
②	タブレット端末を活用したオンライン申請の推進			保健医療局 （中央区）	
<p>●タブレット端末を活用し、窓口での食品衛生に係る申請受付の省力化及びオンライン申請の推進を図ります。申請件数が多い中央区で先行して検証を行い、他区に展開します。</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	計画策定 実施環境の整備	検証開始	検証	他区へ展開	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	窓口でのオンライン申請に必要なタブレット端末やインターネット環境を実装しました。		利用者（営業者）向けのマニュアルを作成します。 また、他区展開に向けた職員向けマニュアルの作成等を行います。		
	指標				
	申請受付のオンライン化率（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
-			42.2	45	55

4. 行政のDX

10	ICTを活用した日常生活の安全・安心の確保				
③	AI活用による安全安心な訪問			保健医療局 (南区)	
●飲食店等の施設への立入の際に、AIによる効率的な自動案内システムを導入することにより、業務の効率化と職員の安全安心な訪問を進めます。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	システムを活用した訪問	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	令和5年度の全立入件数(2,049件)のうち、1,324件について、AIを活用したルート作成・案内システムを活用しており、事務作業にかかる時間を約88時間削減できました。		引き続き、システムを活用し、事務作業の効率化を進めるとともに、システムの活用割合を上昇させます。		
	指標				
	訪問時に自動案内システムを活用した割合(%)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
50			65	75	100
④	ICTを活用した「施設立入調査」の業務効率化			保健医療局 (早良区)	
●施設情報のオープンデータ化、民間活力、ICTを活用し、衛生監視等における施設立入調査のルート作成事務の効率化を進めます。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	ICTを活用したシステムを使った立入	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	施設立入調査のルート作成事務にICTを活用したシステムを使用しました。 システムを活用して立入した施設数 1,020施設		継続してシステムを活用しルート作成事務を行います。		
	指標				
	ICTを活用して立入した施設数の割合(%)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
70			76	75	75

4. 行政のDX

10	ICTを活用した日常生活の安全・安心の確保					
⑤	プッシュ型動画配信による食中毒予防啓発の取り組み				保健医療局 (西区)	
●これまで食中毒予防に関する市民啓発については市広報紙、HPやチラシなどのプル型啓発を中心に実施してきましたが、より効果的な啓発となるよう、受け取ってもらいたい情報をターゲットに向けて能動的にプッシュ配信します。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	短編動画制作 【テーマ】 ノロウイルス	短編動画制作 【テーマ】 アニサキス	—	—		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取り組み			
	ノロウイルス感染症・食中毒予防啓発動画を作成し、YouTube広告配信。約5万回視聴。		令和6年度はアニサキス食中毒予防啓発動画を作成し、YouTube広告配信する予定。 令和7年度以降は、保健所再編に伴う業務の見直しにより西衛生課での当該事業は中止。			
	指標					
	SNS発信用に内製制作した市民啓発ツールの数 (短編動画)(累計)(個)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
			2	3	4	—

4. 行政のDX

11	タブレット端末活用による生活保護ケースワーカーの業務効率化	福祉局			
●ケースワーク業務にタブレット端末を導入し、市民の負担軽減、ケースワーカーの事務の効率化を図ります。 ・家庭訪問先での各種情報参照による丁寧な支援 ・記録業務の効率化 ・カメラ機能活用による市民の証明書類の提出負担軽減・ケースワーカーの事務の効率化 ●効率化によって生み出される人的資源を活用することで、個々の保護受給世帯に応じた、よりきめ細やかな就労支援などを行います。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	早良区でのパイロット運用	全区展開	→	→	
	システム刷新に向けた検証、要望	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	早良区でタブレット6台を導入し、家庭訪問時の記録作成やカメラ機能による書類受領に活用しました。		令和6年10月以降に、全区にタブレット(計42台)を導入予定です。		
	指標				
カメラ機能活用による訪問時の書類受領件数(件)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		-	806	2,500	5,000

12	タブレットを活用した地域保健活動の推進	区役所 (早良区)			
●新型コロナウイルス感染症の流行後、新しい生活様式に対応するため、タブレット等のICTを活用した地域保健福祉活動の推進と新たな支援方法の確立を目指します。 ●オンライン会議システム(zoom)を活用し、会場、自宅、身近な公民館等、自分に適した方法で、市民が講座の受講方法を選択できる取組みを行います。 ●市民の希望に沿いながら、電話、家庭訪問に加え、オンラインによる面接相談も実施します。 ●子育て情報等や市民に必要な情報を家庭訪問等でタブレットを活用してタイムリーに提供し、市民のニーズに対応します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	新しい家庭訪問・健康教育・会議の実施	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	実績:講座等177回(うち公民館等での動画配信21回)、訪問・面接時の活用205回、研修38回、会議等34回、LINEを活用した広報と申込5講座を実施しました。公民館等での配信を行い、交通の便などが整わない市民にも受講の機会が高まりました。広報にLINEを活用し、40～50歳代や他区からの参加につながりました。活用マニュアルは随時改定しました。		各年代に応じたオンライン講座を企画、実施します。すべての職員が標準的にオンライン講座・相談を実施できるようにマニュアルの改定を継続します。		
	指標				
	講座・相談・家庭訪問での使用回数(回)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
183 (R4.11月現在)		454	400	400	

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進								
①	3次元データを活用した公共工事の推進						財政局		
●建設現場における測量や施工の省力化等を目的に、3次元測量やICT建設機械による施工等のICT活用工事等を推進します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		対象工種の拡大		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		新規工種の追加 法面工 浚渫工（河川浚渫、港湾浚渫） 対象範囲の拡大 土工（小規模：1,000m3未満）				新規工種の追加 地盤改良工 付帯構造物設置工 基礎工 構造物工（橋梁上部） 構造物工（橋脚・橋台）			
		指標							
		ICT活用工事累計実施件数（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）		
				11	21	30	50		
②	建設現場における遠隔臨場の活用推進						財政局		
●建設現場における、段階確認、立会、材料確認を監督職員が現地に出向かず、モバイル端末によるオンラインで実施する「遠隔臨場」の活用を推進し、受発注者双方の業務の効率化を図ります。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		遠隔臨場の活用推進		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		業界関係者を対象としたセミナーや市職員の研修等において、遠隔臨場の効果や事例を紹介するなど、活用促進に取り組みました。				引き続き、市職員の研修等の取り組みを継続するなど、活用促進を図ります。			
		指標							
		遠隔臨場の実施工事件数（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）		
				34	185	200	400		

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進								
③	地中レーダー等を活用した地下埋設物検知						道路下水道局		
●地下埋設物が輻湊している箇所等において、地中レーダーにより、地下埋設物情報を正確に把握し、そのデータを設計に反映させることによって、工事の際の地下埋設物破損事故や工事遅延の防止等につなげることを目指します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		委託発注		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		地中レーダー探査を含む設計委託の発注を実施し、一部の業務で、予定していたルートに支障になる地下埋設物が確認され、設計ルートを変更することで対応しました。				引き続き、設計委託と合わせ地中レーダー探査を実施し、将来の事故抑制等につなげるとともに、地中レーダー成果の評価検証を行い、次期発注計画に活用します。			
		指標							
		発注件数（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
4				10		8		10	
④	ドローン等を活用した橋梁点検						道路下水道局		
●橋梁点検にドローン等の新技術を活用することにより、点検時間の短縮や周辺交通への影響の低減、点検委託費用の縮減を目指します。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		ドローン点検 （R3年度～）		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		ドローンによる橋梁点検を15橋（西区 西福岡マリナ大橋 外14 橋）で実施しました。				ドローンによる橋梁点検の利用拡大を検討及び実施します。その他の新技術についても、活用の検討を図りながら、効率的な維持管理に取り組みます。			
		指標							
		ドローン等の新技術を活用した点検実施数 （単年度毎の実施数）（件）		現状値 （4年度）		実績値 （5年度）		中間目標 （6年度）	
15				15		15		15	

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進				
⑤	下水道施設統合監視システム『FORViS』の運用				道路下水道局
●各水処理センターやポンプ場で個別監視している施設情報（ポンプ稼働状況・雨量情報等）を一元的に監視し、情報収集することにより迅速な災害対応等を目指します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	システム運用 (R3年度～全システム稼働開始)	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	システム運用		システム運用		
⑥	AIを活用した水処理センターにおける流入量予測				道路下水道局
●処理場ポンプの運用データや天候情報等を踏まえ、AIによる処理場の流入量予測を行うことで、経験の浅い技術者でも、予測された流入量の活用による効率的な操作ができるようになるなど、安定的な水処理センターの運営を目指します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	検証運用 運用方法検討	試験導入	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	検証運用		試験導入		
	指標				
	AI流入量予測システムを試験導入する水処理センター数 (累計)		現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
0			0	1	1

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進				
⑦	ドローン活用による河川3Dマップの構築				道路下水道局
●河川の上空から360度パノラマ画像を撮影し、地図情報と画像データを結び付け、河川の状況を画像で確認できる仕組みを構築し、災害時の変状把握や河川情報の高度化等を目指します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	河川3Dマップの構築	→	→	→	
	約35km	約30km	約50km	約30km	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	約35km				
	指標				
	河川3Dマップを構築する河川延長 (km)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
		0	35	65	145

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進								
⑧	スマートフォン等を活用した市民参加型通報システム(公園・緑地等)						住宅都市局		
●市民からの公園・緑地、市立霊園などの不具合に関する通報については、電話・FAX及びメール等では、正確な場所の特定・状況確認に時間がかかることや気軽に通報できないことなどの課題があったため、スマートフォン等を活用した市民参加型の通報システムにより効果的・効率的な維持管理を行います。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		通報システムの市民等への周知		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		通報システムを活用した令和5年度の通報件数:約230件				引き続き、通報システムの保守管理を実施していくとともに、市民等からの通報を促進するため、周知を図ります。			
		指標							
		全通報に対する通報システムを活用した通報割合(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
2.1	2.0					2.5	2.9		
⑨	スマートフォン等を活用した市民参加型通報システム(道路・河川)						道路下水道局		
●市民からの道路などの不具合に関する通報については、電話・FAX及びメール等では、正確な場所の特定・状況確認に時間がかかることや気軽に通報できないことなどの課題があったため、スマートフォン等を活用した市民参加型の通報システムにより効果的・効率的な維持管理を行います。		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		通報システムの市民等への周知		→		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		通報システムを活用した令和5年度の通報件数:約1,500件				引き続き、通報システムの保守管理を実施していくとともに、市民等からの通報を促進するため、周知を図ります。			
		指標							
		全通報に対する通報システムを活用した通報割合(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
9.3	10.3					10.8	11.8		

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進				
⑩	AIを活用した道路パトロール			道路下水道局	
●道路パトロールカーにドライブレコーダーやスマートフォン等の機器を搭載し、取得した映像及び位置情報から、AIを活用して損傷箇所を解析することで、補修優先度を明確化するとともに、GIS上で一元管理する等、効率的な道路の維持管理や異常箇所への迅速な対応を目指します。 ※指目標値は今後の事業の実施状況を踏まえて設定する予定です。		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		実証実験(R4年度)の結果を踏まえ導入を検討	→	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		実証実験(令和4年度)の結果を検証し、令和6年度の試験導入に向けた検討を進めました。		AIを活用した道路パトロール技術の試験導入を行い、本格導入に向けた課題の整理等を行います。	
		指標			
		AIを活用した道路パトロールの構築		現状値(4年度)	実績値(5年度)
-	導入検討			導入検討(試験導入)	※
⑪	道路整備維持補修業務支援システム			区役所(西区)	
●道路整備維持補修業務支援システムを構築し運用します。 ①技術基準書等データ検索ツール ②業務文書テンプレート集 ③工事データフォルダー自動作成ツール ④予算・委託工事台帳管理ツール ⑤補修履歴の地図情報化		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		運用	→	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		①検索ツールを作成し運用中です。 ④管理ツールを作成し運用中です。 ⑤地図情報を電子化し共有化済みです。		①、④情報を更新しながら運用していきます。 ⑤年度ごとに電子化しながら情報を蓄積していきます。	
		指標			
		紙情報をデジタル化し情報共有化(%)		現状値(4年度)	実績値(5年度)
40	100			80	100

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進				
⑫	維持管理情報の電子化				港湾空港局
●港湾施設等（令和4年度末時点602施設）の基本情報や補修履歴を登録している既存のシステムに点検結果等を追加登録することで、維持管理業務を効率化し、現場での活用や他部署との情報共有を図ります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	点検結果等の登録	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	維持管理情報データベースに過年度の点検結果等を随時登録している状況です。		今後も点検結果等を随時登録しデータベースの充実化を図ります。		
	指標				
	維持管理情報を電子化した施設の割合（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
20			35	50	80
⑬	IoT・AIなどのICT技術を活用した水道施設の維持管理の高度化・効率化				水道局
●取水場や浄水場、配水管などの水道関連施設において、IoT・AIなどのICT技術を活用した維持管理や施工管理の高度化・効率化に取り組み、事業運営のスマート化やアセットマネジメントの推進を図ります。 ●ICT技術の活用検討にあたっては、幅広いアイデアやノウハウを取り入れるため、民間事業者と連携した実証実験等を進め、実装化に繋がります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	IoT・AIなどのICT技術活用 の検討・推進	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	令和5年度については、「人工衛星画像を活用した水道管漏水調査」、「AI・IoTセンサを活用した水道管漏水調査」の2件を実施しました。		引き続き、業務の効率化と生産性を高めるため、新技術の活用について積極的に検討・検証を行ってまいります。		
	指標				
	民間事業者と連携した実証実験による検証件数 （累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）
4			6	6	8

4. 行政のDX

13	公共工事、維持管理等のデジタル化の推進							
⑭	IoTセンサを活用したポンプ設備点検						水道局	
<p>●IoTセンサを浄水場のポンプ設備に取り付け、振動データを自動取得することで異変を察知するとともに、振動データの解析による時宜を捉えた効果的なメンテナンスを実現することで、設備の延命化や監視体制の強化を図ります。</p> <p>●令和4年度に高宮浄水場のポンプ設備に導入しました。IoTセンサによる点検業務の高度化・効率化を実践していきます。</p> <p>※指標・目標値は今後の状況を踏まえて検討します。</p>	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	・運用 (R4年度導入済み)		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	令和4年度に導入済みであり、順調にIoTセンサ稼働中となっております。				引き続き、点検業務の高度化・効率化を実践してまいります。			
	指標							
	※				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
					-	-	※	※
⑮	ICTを活用した水源かん養林の保全						水道局	
<p>●現在、水源かん養林の機能維持・向上を図るため、職員の目視による点検を実施していますが、ドローンやマルチスペクトルカメラを活用することで、目視では確認が難しい箇所の点検や作業負担の軽減等、点検業務の効率化と事故防止対策に寄与します。</p> <p>※指標・目標値は今後の状況を踏まえて検討します。</p>	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	・実装		・効果検証		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	令和5年度に「マルチスペクトルカメラを搭載したドローンによる点検」を実装し、点検業務の効率化を図ることができました。				引き続き、点検業務の効率化と事故防止対策を実践してまいります。			
	指標							
	※				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
					-	-	※	※

4. 行政のDX

14	デジタル技術を活用した災害対応等							
①	GISクラウド・判定アプリを活用した被災建築物応急危険度判定					住宅都市局		
●大規模地震時に被災した建物の二次被害防止のための応急危険度判定は、現在、紙の判定用紙にて行われているが、判定アプリを利用し、その情報をGISクラウドで集約することにより、作業を効率化し、判定日数の短縮を図ります。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	GISクラウド・判定アプリ導入		→		→		→	
	・システム導入 ・各種マニュアルの整備 ・判定訓練の実施		→		→		→	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	判定アプリを利用した判定訓練を実施しました。（部内判定士向け）				判定アプリを利用した判定訓練を実施予定です。（本市建築職の判定士向け）			
	指標							
	1チームが1日に行える判定数（件） ※R4年度については、予定値を記載 ※R5年度は災害がないため実績値なし			現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
				20	-	40	40	
②	ドローンを活用した災害対応等					港湾空港局		
●災害発生時等において、立ち入りが難しい場所等の現地調査をドローンを活用して行うことで、迅速な対応や業務の効率化を図ります。	工程							
	5年度		6年度		7年度		8年度	
	防災訓練への活用検討・実施・フォローアップ		→		既存マニュアルの改定作業		マニュアル運用開始	
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
	防災訓練において、ドローンによる中継（現場状況をリアルタイムで本部へ共有）を実施しました。				引き続き、訓練等を通じて災害発生時のドローンの活用について、検討を進めていきます。			
	指標							
	ドローンの活用を反映し、改定したマニュアル数（件）			現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
				-	-	-	2	

4. 行政のDX

14	デジタル技術を活用した災害対応等																
③	ドローンを活用した災害対応力や情報発信力の強化								区役所 (西区)								
●災害発生時において、ドローンを活用し、迅速な状況把握と関係者間の情報共有（リアルタイムの共有を目指す）を行い、二次災害防止・早期復旧を図ります。 ●平時において、目視困難な箇所を点検して維持管理に役立てます。また、区の魅力等について効果的に情報発信します。										工程							
										5年度		6年度		7年度		8年度	
										ドローンの運用		→		→		→	
										ドローン操縦 資格者の確保 (講習の受講)		→		→		→	
										令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
										ドローンの運用・操縦資格者の確保ともに、順調に進捗しています。				引き続き、ドローン操縦資格者の確保に努め、常時ドローンを運用できる体制を持続します。			
										指標							
										ドローンの使用回数(件)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
25	28	30	35														
④	遠隔監視								区役所 (西区)								
●遠隔監視カメラによる危険個所の常時監視を行います。 ①室見川危険個所(氾濫) ②日向峠(積雪)										工程							
										5年度		6年度		7年度		8年度	
										運用		→		→		→	
										令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
										カメラによる監視を継続しています。				引き続き、カメラによる監視を継続します。			
										指標							
										現状確認から情報共有までの時間の縮減(%)				現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)	最終目標 (8年度)
														90	90	90	90

4. 行政のDX

15	IoTを活用した捕獲活動の効率化				農林水産局	
●イノシシの捕獲活動において、捕獲従事者が設置した箱わなの見回りは不可欠です。 利用者からは利用を拡大したいとの意見をいただいています。 このため、引き続き見回りの省力化を図り、今後も効率的な捕獲活動を実施するため、福岡市鳥獣被害対策協議会にて、IoT機器の活用を推進します。	工程					
	5年度	6年度	7年度	8年度		
	導入機材を活用した捕獲活動の効率化	→	→	→		
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み			
	捕獲通知センサーをさらに20台追加導入（全100台）しました。 増設した捕獲通知センサーを活用し、捕獲活動の省力化・効率化を図りました。		要望に応じて捕獲通知センサーを追加導入します。 捕獲活動の省力化・効率化を図ります。			
	指標					
	IoT（捕獲通知システム）機器の導入数（累計）（台）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		80	100	100	100	

16	データを活用した政策立案の推進				
①	地域包括ケア情報プラットフォーム				福祉局
●高齢者やその家族に多様なサービスが一体的に切れ目なく提供される地域包括ケアの実現に向け、市及び外部機関の保有する保健・福祉・医療に関するデータを一元的に集約・管理し、ICTの活用により地域ニーズの見える化や医療・介護における多主体間の連携などを実現します。また、プラットフォームデータの更なる活用に向けて、外部有識者と連携するなどして分析を行い、分析結果を事業の企画・立案に繋げていきます。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	各システムの普及・定着に向けた取組	→	→	→	
	データ分析の実施	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	データ分析システムの普及・定着に向けた職員研修や分析結果のオープンデータの更新を行いました。また、外部有識者と連携した分析を行い、分析結果を庁内外に共有しました。		データ分析システムについては、引き続き職員研修を実施するとともに、ニーズに応じて分析結果のオープンデータの拡充を図ります。また、外部有識者と連携した分析を継続し、分析結果を事業の企画・立案に繋がります。		
	指標				
データ分析の結果を活用した事業の企画・立案数（累計）（件）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		2	3	6	10

4. 行政のDX

16	データを活用した政策立案の推進					
②	AIを活用した「ケアプラン作成支援システム」構築事業				福祉局	
●行政や民間が保有するデータやAI等を活用し、介護予防・重度化防止に資するケアプラン作成を支援するシステムを構築します。	工程					
	5年度		6年度		7年度	8年度
	AI開発		試行導入		→	→
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み		
	市と協定を締結した事業者において、行政や民間が保有するデータを学習したAIが、推奨する介護保険サービスの種類等を提案するシステムを開発しました。			一部の地域包括支援センターでの試行導入について、検討を行います。		
	指標					
	年齢層別要介護認定率（％） （65～74歳）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			4.9	4.8	4.4	4.4
	年齢層別要介護認定率（％） （75～84歳）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
			20.9	20.3	20.1	19.4
年齢層別要介護認定率（％） （85歳～）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）	
		64.2	64.4	65.4	65.6	

4. 行政のDX

16	データを活用した政策立案の推進				
③	ビッグデータを活用した交通安全対策				道路下水道局
●車両走行情報（速度超過や急ブレーキ箇所）のビッグデータを活用し、30km/hの速度規制とハンプ等の物理的デバイスを組み合わせることで、より効果的・効率的な交通安全対策の実施を図るゾーン30プラスの取組みを推進します。 ※指標・目標値は今後の事業の実施状況を踏まえて設定する予定です。		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		ゾーン30プラス整備	→	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		ゾーン30プラスに設定された博多区板付・麦野地区、東区千早西地区および香陵地区の3地区において、物理的デバイス等の整備が完了しました。 中央区平尾・薬院地区がゾーン30プラスに設定されました。		令和5年度にゾーン30プラスに設定された中央区平尾・薬院地区において、物理的デバイス等の整備を行うとともに、他の地区においても、ゾーン30プラスの整備に向け、地域や警察と協議を行います。	
		指標			
		※		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）
-	3地区			※	※
④	航空レーザ計測による森林の基礎データ活用				農林水産局
●航空レーザ計測の実施（令和元年度）により、詳細な森林の資源量及び地形データを収集し、森林のデータ解析及び収益算定等を実施することにより、施業対象地の選定や施業集約化による生産コスト低減を図るとともに、航空レーザ計測成果を広く林業施策の効率的な展開の基礎資料とします。		工程			
		5年度	6年度	7年度	8年度
		成果を活用した林業施策の実施	→	→	→
		令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
		航空レーザ計測の成果を活用し、森林境界明確化を実施するとともに、森林所有者へ森林の経営管理に対する意向調査を実施し、森林施業の集約化を検討しました。		森林境界明確化等に継続して取組みます。	
		指標			
		航空レーザ計測データを活用した森林境界明確化面積（ha）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）
80	96			100	100

4. 行政のDX

16	データを活用した政策立案の推進					
⑤	博多旧市街ライトアップウォークの混雑緩和・回遊性の向上			区役所 (博多区)		
●寺社やまちなみのライトアップを行うことにより、博多部の更なる魅力の創出と回遊性の向上を図り、集客力の向上とまちの活性化を図ることを目的とした博多旧市街ライトアップウォークにおいて、混雑緩和や回遊性の向上に取り組みます。	工程					
	5年度		6年度		7年度	8年度
	運用		→		→	→
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み		
	各会場の待ち時間情報について、公式HPにおいてリアルタイムの情報を掲載、公式LINEでは30分おきに情報配信を行ったところ、前年度と比べ、混雑が解消されました。活用率の調査は令和6年度から実施予定です。			引き続き、公式HPにおけるリアルタイムの待ち時間情報の発信と、公式LINEでの定期的な情報配信を計画しています。		
	指標					
	来場者における、待ち時間情報（公式HP等で発信）の活用率（％）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
-			-	50	70	
⑥	教育データの活用			教育委員会		
●データ駆動型教育への転換に向け、各種教育データを可視化し、個別最適な学びや効果的な教育施策の立案等を推進します。	工程					
	5年度		6年度		7年度	8年度
	プロトタイプ試行検証・要件定義		→		設計・開発・運用	
	令和5年度の実施状況			令和6年度以降の取組み		
	教育データ連携基盤のプロトタイプを構築開始 ダッシュボード（データ可視化システム）の検討と開発 教育データを活用した分析システムの検討と開発 モデル校でプロトタイプの実行検証及びヒアリング 連携する既存システムデータの現状分析と検討 ヒアリング結果等に基づきプロトタイプを改修 国の動向や先行事例の調査			モデル校でプロトタイプの実行検証とヒアリングの実施 心の健康観察等の児童生徒画面の検討と開発 ヒアリング結果等に基づきプロトタイプを改修 本構築の設計・開発に向けたシステム要件定義、調達仕様など、調達資料一式の作成 国の動向や先行事例の調査 令和7年度、教育データ連携基盤の本構築開始 令和8～9年度、一部校運用開始、全校運用開始		
	指標					
	教育データ連携基盤の構築		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
ロードマップ 策定			試行検証 プロト構築	試行検証・ 要件定義	設計・開発・ 運用	

4. 行政のDX

16	データを活用した政策立案の推進			
⑦	データ活用人材育成のための職員研修			総務企画局
●課題解決のためにデータを分析・活用し、根拠に基づく政策を立案できるスキルを身につけることを目的とし、職員研修を実施します。	工程			
	5年度	6年度	7年度	8年度
	研修の実施	→	→	→
	新たな研修の検討	→	→	→
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み	
	庁内のデータ利活用担当部門職員を対象に、データ利活用に係る関係システム操作研修やデータに基づく施策立案に関する研修など、データ活用人材育成研修を実施(計7日間、延84名参加)しました。		庁内ユースケース候補やパイロット事業候補の各所管課・企画部門・DX推進リーダー向けに、データ活用の基礎やEBPMの基礎研修、BIツールのハンズオン等を実施予定	
	指標			
	新たな研修の受講者数(累計)(人)	現状値 (4年度)	実績値 (5年度)	中間目標 (6年度)
-		84	100	200

5. DXを支える基盤

I	自治体情報システムの標準化・共通化への対応			総務企画局								
<p>●国が進める自治体情報システムの標準化・共通化に関する取組みに対応するため、標準化対象となる20業務の情報システムについて、令和7年度末までに標準準拠システムへ移行します。</p> <p>※なお、上記期限までに移行が完了しない特定移行支援システムについては、国が個別に設定する移行の完了期限までに標準準拠システムへ移行します。</p>	工程											
	5年度		6年度		7年度		8年度					
	方針検討		→									
	標準準拠システムへの移行		→		(一部完了)		特定移行支援システムの移行					
	令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み							
	国が示した標準仕様書に基づき、システム改修等に向けた仕様の検討を実施しました。 国の標準化基本方針が改定され、特定移行支援システムについては、国が移行の完了期限について個別に設定するとされたことから、事業の実施期間の見直しを行いました。				各業務システムの標準化に関わる改修及び庁内ネットワークとガバメントクラウドを接続するための、ネットワーク環境の整備等に取り組みます。							
	指標											
	標準化・共通化への対応を完了した業務数(業務)					現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)		最終目標 (8年度)
0						0		0		20		

5. DXを支える基盤

2	システム刷新による業務の効率化	総務企画局			
●システム刷新計画（平成27年3月策定、計画期間は令和10年度まで※）の基本方針である 「ICTガバナンスの強化」 「業務プロセスの改革」 「システムの刷新と共通基盤の整備」 に基づき、同計画を実行することにより、市民サービスやシステム運用に係る業務の効率化を図ります。 ※令和6年3月計画期間見直し	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	社会保障系システム（介護、高齢者福祉、生活保護等）構築	→	→	→	
	市税システム要件定義等	市税システム構築	→	→	
	業務共通基盤構築（拡充）	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	社会保障系システム（介護、高齢者福祉、生活保護等）構築に向けた取組み等を実施しました。		社会保障系システムの構築等を引き続き行うとともに、新たに市税システムの構築等に取り組みます。		
	指標				
	新規に稼働したシステムの数（累計）（システム）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
11		11	13	16	

3	下水道事業財務会計システム再構築	道路下水道局			
●稼働中の下水道財務会計システム、固定資産台帳システムは稼働から約40年経過していることから、より効率的な業務が推進できるよう、各システムを一体化した新システムを再構築します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	一部機能の稼働	全機能の稼働 データ移行運用開始			
	操作研修の実施	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	システム再構築作業の完了 操作研修の実施 システム一部機能の稼働開始		システム全機能稼働開始 旧システムからのデータ移行実施 旧システムの稼働停止 新システム利用における決算作業(令和6年度以降の決算) 決算作業におけるマニュアルの整備		

5. DXを支える基盤

4	消防指令管制情報システム全面更新	消防局			
●119番通報の受付から消防隊・救急隊への出動指令、情報収集、現場支援、関係機関への連絡、市民への情報提供などを行うシステムについて、ICTを活用し業務の効率化、高度化を図ります。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
		基本構想・基本計画	システム設計	システム設計	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	他都市の事例等の情報収集を実施しました。		令和6年度 他都市の事例等の情報収集を実施 基本構想・基本計画の策定		
			令和7・8年度 システム設計（外部委託）		
			令和9～11年度 システム構築（外部委託）		

5. DXを支える基盤

5	マイナンバーの利活用				
①	高齢者福祉に関する手続き				福祉局
<p>●市独自の行政手続きでもマイナンバーを利活用し、情報提供ネットワークを利用した情報連携を実施することで、添付書類削減を図ります。</p> <p><対象手続></p> <p>・在宅福祉サービス等に係る申請</p> <p>・老人保護措置 など</p> <p><添付書類の削減></p> <p>・所得証明書</p> <p>・収入申告に関する情報 など</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	導入準備	順次運用開始	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	個人情報保護委員会に情報連携の届出を行い、情報提供ネットワークシステムによる情報連携を可能としました。		必要に応じて、情報連携を行い、添付書類削減を図ります。		
	指標				
	マイナンバー利用事務への対応を完了した事業（事務）数（事務）	現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）	最終目標（8年度）
0		13	16	16	
②	障がい福祉に関する手続き				福祉局
<p>●市独自の行政手続きでもマイナンバーを利活用し、情報提供ネットワークを利用した情報連携を実施することで、添付書類削減を図ります。</p> <p><対象手続></p> <p>・緊急通報システム</p> <p>・住宅改造成 など</p> <p><添付書類の削減></p> <p>・所得証明書</p> <p>・収入申告に関する情報 など</p>	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	導入準備	順次運用開始	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	独自利用事務に関する情報連携の届出を提出しました。		令和6年2月より利用可能となったため、順次運用を開始します。		
	指標				
	マイナンバー利用事務への対応を完了した市独自の事業（事務）数（事務）	現状値（4年度）	実績値（5年度）	中間目標（6年度）	最終目標（8年度）
8		9	15	16	

5. DXを支える基盤

5	マイナンバーの利活用								
③	生活保護に関する手続き						福祉局		
●マイナンバーを利活用し、オンライン資格確認を実施することで、提出書類及び来所回数の削減等を図ります。 <対象> ・医療扶助オンライン資格導入		工程							
		5年度		6年度		7年度		8年度	
		導入準備		運用開始		→		→	
		令和5年度の実施状況				令和6年度以降の取組み			
		医療扶助オンライン資格導入準備				医療扶助オンライン資格導入準備および運用開始			
		指標							
		マイナンバー利用事務への対応を完了した項目数(項目)		現状値 (4年度)		実績値 (5年度)		中間目標 (6年度)	
1				1		2		2	

5. DXを支える基盤

6	マイナンバーカードの普及促進	総務企画局			
●オンラインで確実に本人確認ができ、福岡市のDXを支える基盤となるマイナンバーカードの申請サポートを実施するとともに、普及キャンペーンの実施や、マイナンバーカード総合窓口を設置し、普及促進を図ります。 ※令和4年度は若年層向けの普及キャンペーンを実施しています。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	申請サポートの実施	→			
	普及キャンペーンの実施	マイナンバーカード 総合窓口の設置			
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	区役所・出張所や公民館等でマイナンバーカードの申請サポート等を実施するとともに、若年層等向けのマイナンバーカード普及キャンペーンを実施しました。		引き続き、マイナンバーカードの申請サポート等を実施するとともに、市民の利便性向上のため、区役所・出張所にマイナンバーカード総合窓口を設置します。		
	指標				
マイナンバーカードの普及（市内の保有率） ※令和4年度の保有率は国の発表なし		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		※	74.1%	-	-

7	情報セキュリティ監査の実施	総務企画局			
●情報セキュリティに関する内部監査、外部監査を毎年実施し、情報システムごとのリスクの評価、管理体制のチェックを行う対策を組織的に推進します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	外部監査	→	→	→	
	内部監査	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	システムやホームページを対象に外部の専門機関に委託して実施する外部監査、及び個人情報や情報資産を取り扱う所属を対象に職員で実施する内部監査を実施した。 ・外部監査 5システム、2ホームページ ・内部監査 7所属		引き続き、監査内容の見直しを行いながら、外部監査及び内部監査を実施していく。		
	指標				
監査実施数（令和5年度からの累計）（回）		現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		-	14	24	48

5. DXを支える基盤

8	研修による職員の情報セキュリティ意識の向上	総務企画局			
●職員の情報セキュリティに関する意識の向上を目的とし、情報セキュリティ研修を実施します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	情報セキュリティ研修	→	→	→	
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	全職員を対象とした研修や、新規採用職員や新任課長職員など職位を考慮した研修を実施し、情報セキュリティに関する意識の向上と知識の習得に取り組んでいます。 令和5年度は、研修資料をサイバー攻撃やセキュリティ対策の最新情報を反映させた内容にしたうえで実施しました。		引き続き、研修内容の見直しを行いながら、全職員を対象とした研修及び職位を考慮した研修を実施します。		
	指標				
	研修実施数（令和5年度からの累計）（回）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		-	9	16	32

5. DXを支える基盤

9	市民目線での行政手続き等のルール見直しの推進	総務企画局			
●行政手続きのデジタル化・オンライン化に合わないルールは、市民目線に立って見直します。	工程				
	5年度	6年度	7年度	8年度	
	条例等におけるアナログ規制の点検・見直し	→			
	令和5年度の実施状況		令和6年度以降の取組み		
	書面等での掲示を義務づけている行政手続きについて、令和5年9月に市の「オンライン化条例」を改正し、書面等での掲示に加え、インターネットでの閲覧も可能となるよう見直しました。		国の見直し状況等にも留意しながら、可能な限り速やかに見直しを進めます。		
	指標				
	年度内に見直す方針を決定した条例等の条項のうち、改正済の条項の割合（％）	現状値 （4年度）	実績値 （5年度）	中間目標 （6年度）	最終目標 （8年度）
		-	100	100	100